京城日報

二十七日夕刊
（朝夕刊を併せて八頁）

THE KEIJO NIPPO　大正七年六月二十八日　年中無休刊（日曜日祭日休刊）　第三千八百六十七號（一）　（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

本紙定價　一ケ月七拾五錢　前金武圓六拾錢（六ケ月）　郵送料一ケ月二十錢
廣告料金　五號活字一行金四拾錢
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
印刷人　小川三之介

時間表

[illegible]

十一月一日現行

總督訓示

二十七日各道第二部長會議に於て山縣政務總監の代讀せる長谷川總督の訓示左の如し

財務計畫の進捗に伴ひ本年度に於て地税令及び煙草税令を改正して税制の革新を決行し又時局の影響に因る國庫收入の增加を圖ると共に税制の特殊の利得ある者に對し適應の課税を爲すを以て適當なりと認め戰時利得税令を制定せり尙地方經濟の現狀に鑑み朝鮮殖產銀行を設立して拓殖に必要なる資金を豐富ならしめ更に金融を改善して汎く小農商業者の金融の調節を圖らんとす而して是等税令實施の方法宜しきを得ざる時は啻に歲計の運用上困難を來すことあるのみならず延て一般人民に深甚なる影響を及ぼすべく又金融機關監督の如何は經濟界の消長に至大の關係を生ずべきこと言を要せず各位は其の實施に當り充分なる講究を遂げ苟も當局の期待に背くことなきを期す可し

對聯合國援露決議

日本の出兵を希望す

十八日哈爾賓にて西伯利及び歐羅巴各地より集合せる露國民代表者大會開會されたるが協議の結果聯合國各政府に向ひ露西亞を援助せん事を求めたり其大會の決議文中には左の一節あり（哈爾賓電報）

吾人を援助せんとする聯合國は現下の危機に際し迅速に聯合軍隊を派遣する事に依りてのみ援助の目的を達し得可し而して今や我隣邦たる日本が他の聯合國と提携して猶豫無く其の勇敢なる軍隊を派遣するを希望す

回々教徒親土傾向

北高架索回々教徒間に親土耳古傾向熾烈となり形勢重大ならんとす（莫斯科電報）

墺軍算を亂して退却

伊國公報に曰く敵は擊退せられ混亂狀態にてピアヴェ河を渉り退却中なり（倫敦電報）

獨兩都市同盟罷業

麵麭割宛量減少の爲めケルン及びミユールハイムの兩都市に大規模の罷工起り二萬の職工は軍需品工場の作業を中止せり（ヘーグ電報）

▲ケルン、ミユールハイム兩都市共獨國の都市にして殊にケルンは獨逸西部に於ける交通の中心地なり

吳淞獨學校注目

上海ノース、チヤイナ、デーリーニユースは吳淞にある獨逸工科專門學校は支那に於ける獨逸勢力のプロパガンダ（傳播）の中心なるを指摘し此學校の存在は甚だ危險なる旨主張せり（上海特電）

廣東組織變更打電

陸榮廷氏は馮總統に打電して曰く『廣東の正式國會既に成立し軍政府の組織を改め南北の勢力平均せり而も南方の法律は北方に比して完備せり唯予は時局の分裂を見るに忍びず尙和議を主持せられん事を望む』と（北京特電）

哈浦開通

哈爾賓浦鹽間の列車は二十五日より開通せり（哈爾賓特電）

日華紡織組織

河崎助太郎氏の買收したる上海紡績は富士紡績專務和田豐治氏、山陽紡績取締伊藤忠三氏及び日本棉花の提携に依り今回資本金千萬圓の日華紡織株式會社を組織する事に決定せりと（大阪特電）

有松長官視察

有松拓殖局長官は廿七日午前十時大連發北行途中陽崗子一泊立山視察の筈なり（大連特電）

總監代議士招宴

山縣政務總監は二十七日午後七時より入京中の磯部、井戸、川口の三代議士並に中村衆議院書記官岡田屬を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開きたるが鈴木小原兩局長、官房關屋荻田兩局長、工藤總務課長、林事務官、牧山代議士等も出席せり

兩鐵統一々進

委任範圍擴大

鮮滿兩鐵道統一の實を一層進め滿鐵本社と京城管理局間の會計事務を統一し更に總督府の

▲京城管理局　に對する委任事項を擴大せんとする案件は總督府の鮮鐵總支出額に對する報償問題に於て行き惱みつゝありしが東京特電は拓殖局に於ける協定により略一致點を見たる旨報じ來れるに付近くその公表を見るべきが該問題の由來を聞くに現行の鐵道委任經理狀態にては滿鐵京城管理局並に本社に於て不便不利を感ずる點あるより其改正に付春來總督府當局と京城管理局主腦との間に交渉を進めつゝありしが正式の協商は客月東上の途入京せし

▲中村關東都督　の總督府訪問により議一進更になり本月に入り國澤理事長の訪府となりたるものにて內容は滿鐵の總督府に對する報償額決定滿鐵の本社と京城管理局間の經理事務の統一人事の統一客貨車の統一等の外一定の額を定め該額以下の物品の購入諸工事その他は從來の如く一々京城管理局より總督府に申請認可を經る等の手續きを履まず京城管理局にて獨行する事となるべく乃ち例へば豪雨出水に際會し小橋梁の流失を見る等の場合即時京管にて相當修理方法を講ぜんとするものに付結局之等の手配は極めて敏速に運ばるゝに至るべきが唯今回の問題は悉く

▲總督府對滿鐵　並に京城管理局間に於ける內部の問題にして外部に關渉を有せるものに非ず

二部長會議（第一日）

各道第二部長會議第一日は二十七日午前八時より總督府第二會議室に於て鈴木度支部長官統裁の下に開會直ちに日程に入り午前中は別項記載の如く山縣政務總監の長谷川總督訓示代讀あり稅務に關する指示、午後は稅務に關する打合せあり四時散會せり

鮮銀決算

配當は年八分　純益金增加

朝鮮銀行の上半期決算は來る三十日を以て締切るべく目下本店並に支店共非常の繁忙を呈しつゝあり從つて未だ數字上の精確なる結果は知り得ざるも既報の如く（一）內地鮮滿

▲財界の大膨脹　に伴ふ各店の貸出增加爲替の活動其他による收益增（二）對支借款の引受（三）支那上海青島方面進出による好況（四）正金銀行ゟ滿洲の金券國庫業務並旅順遼陽鐵嶺安東四店を讓受し結果の收益增（五）銀行券の發行財界の大勢に順應し膨脹せし事並に保證準備發行限度の五千萬圓擴張等相倚り相俟て著しく業績の進展を來し居れり唯浦鹽並に哈爾賓方面は露國の情勢混沌たるため大體に於て喰ひ込みを餘儀なくせらる如きもその總貸出高の如き

▲一億圓臺　に上り之を前年に比すれば倍額強の增加たり又銀行券發行高も前年同期末の三千九百萬圓臺なりしに比し本年は六千一百萬圓臺を持し二千二百萬圓の增加を來し居れる等要するに前年同期と同日に論ずべからず勞々總益金に於ては八百萬圓臺を多く扱くに至るべきが人員の增加支店の增設業務膨脹に伴ふ諸經費の增大あるに付結局純益は百二十萬圓所に留まるべきかと觀測されつゝあり又當期の配當は過般の重役會議に於て略前期同樣年八分の割に決定各種積立金並びに繰越金の增加を企圖し銀行の基礎を

▲一層堅實　ならしむるもの如し尙當期に於ける保證準備發行限度の擴張は四月末にて當期の決算には多くその餘澤現はれ居らず反つて正金々券引繼ぎに伴ふ制限外の發行稅の納入多かりし觀あるも後半期に於ては時局の急變を見ざる限り各種業績の振張と共に銀行券の膨脹はその純益を著しく增加せしむべしと目せらる

所謂營林廠事件（二）

山縣生

近頃前營林廠長齋藤音作氏に關し、頗る忌はしき風評の傳はるあり。內地の有力なる一大新聞は『朝鮮營林廠事件の眞相』と題し、數回に涉りて種々の怪聞を揭載し恰も八幡製鐵所事件の如き疑獄が我朝鮮にも發生したるかの如く報道して、いたく世人の耳目を聳かした。果して其報にして眞ならんか、これ誠に由々しき大事にして在朝鮮官憲の威信を傷け、朝鮮人に對する內地人の面目を汚すものといふべく、操觚者として傍觀すべからず。其眞僞を糺さざるべからず。こゝに於て余は少閑を偸み、前週此事件の發生地たる新義州を訪ひ、實地に其眞相を調査した。余は二日を此仕事に投じ、各方面の人を訪問して、其語る所を聞き、感ずる所を質して、大抵正當にして公平なりと信ずるを得る判斷を下すの材料を集めた。以下數回に分ちて揭ぐる所は此等の材料を綜合して執筆したるもの、庶幾くば暗雲を排して一道の光明を此事件の上に注ぐを得んか。

こゝに一言附け加へておかざるべからざるは、此等の材料を何人が余に提供したかは新聞記者として德義上之を明言し得ざる事である。然しながら余は余の述ぶる所の誇張なく、僞りなく飾りなき事を余の名譽に賭けて告白する者である。余は自然『朝鮮營林廠事件の眞相』中の記事の誤謬を正さゞるを得ざる事あらんも、決して其筆者に對し論事を挑む者でない。余は余の得たる材料に據り、所謂『眞相』なるものが決して眞相を得たるものに非らざるを斷言し、其筆者が誤報を傳へて世人を迷はし之を小にしては齋藤氏個人の名譽を傷け、之を大にしては在朝鮮官憲の威信を汚したるを遺憾とする者なれど、然も之が爲めに其人の誠意を疑ひ、其人が爲めにする所ありて筆を枉げたるを疑ふ者でない。如何に老練なる新聞記者と雖も、時としては誤聞を傳へ、判斷を謬る事あれば也。

地方金融組合令改正

二十七日制令を以て發布

既報の如く金融組合令改正に關する制令は廿七日の總督府官報を以て發布されたるが其の改正條文左の如し但し本文中圈點を付しある部分は今回の改正に係るものなり

『地方金融組合令』を『金融組合令』に改む

組合令中『地方金融組合』を『金融組合』に改む

第一條　金融組合は組合員の經濟の發達を企圖する社團法人とす

第二條　金融組合の組合員は組合の區域內に於て住所を有する者に限る

第五條　金融組合は左の業務を營むものとす

一　組合員に對し其の經濟の發達に必要なる資金を貸付すること

二　組合員の爲に預り金を爲すこと

府又は朝鮮總督の指定する市街地が組合の區域に屬する金融組合は前項第一號の資金の爲め手形の割引を爲すことを得

金融組合は左の業務を兼營することを得但し前項の金融組合が之を兼營せむとするときは朝鮮總督の認可を受くべし

一　組合員の爲に產業上必要なる材料の貸付若くは共同購入を爲し又は組合員の委託に依り其の生產物を販賣すること

二　組合員の爲に其の生產物を倉庫に保管し又は之に對し倉荷證券を發行すること

前項の倉荷證券には商法中倉荷證券に關する規定を準用す

第七條　金融組合は朝鮮總督の認可を受け銀行の業務の代理又は其の媒介を爲すことを得

第九條　業務上の餘裕金は一時國債證券若は朝鮮總督の指定したる銀行に預け金と爲すの外之を使用することを得ず

第十一條の二　金融組合には本令に別段の規定あるものを除くの外商法及び商法施行法中商人に關する規定を準用す

第十四條　定款には本令に規定ある者の外左の事項を記載し設立者之に署名捺印す可し

一目的　二名稱　三區域　四主たる事務所の所在地　五出資一口の金額及其の拂込の方法　六第一回拂込の金額　七準備金積立の方法　八組合員の加入及び脫退に關する規定　九存立時期又は解散の事由を定めたるときは其の時期又は事由　十業務の執行に關する規定

第十五條　金融組合の設立を許可する爲必要ありと認むるときは朝鮮總督は既設組合の區域及事務所所在地の變更を命ずることを得

第十七條　出資一口の金額は十圓以上五十圓以下とし均一に之を定むべし

第二十一條　行政區劃の名稱に變更ありたるときは登記簿に記載したる行政區劃の名稱は當然之を變更したるものと看做す

前項の變更ありたるときは金融組合は遲滯なく之を登記所に通知すべし

前項の通知ありたるときは登記所は登記簿の記載を變更すべし

第一項の規定は組合の區域及事務所所在地に關する定款の規定に之を準用す

第三十一條　金融組合に組合長一人理事一人監事二人以上及び評議員七人以上を置く

組合長、理事、監事及び評議員は總會に於て組合員中より之を選任す但し朝鮮總督の指定する組合の理事は朝鮮總督之を任免す

組合長及び理事の選任は地方長官の認可を受くるに非ざれば其の效力を生せず

組合設立當時の組合長理事及び監事は定款を以て之を定むべし但し第二項但書の理事は此の限に在らず

第三十二條　監事は組合長理事其の他組合の職員と相兼ぬることを得ず

第三十三條　組合長及び理事の任期は三年とし監事及び評議員の任期は二年とし但し任期中の最終の決算期に關する定時總會の終結に至る迄其の任期を伸長することを得

第三十四條　組合長理事及監事の選任は總組合員の半數以上出席し其の議決權の過半數を以て之を決す

第三十五條　組合長は理事と共同して金融組合を代表す

組合長又は理事に對して爲したる意思表示は組合に對して其の效力を生ず

第三十六條　組合長及理事は定款の定むる所に依り金融組合の業務を執行す

組合長事故あるとき又は總會及び評議員會の議長たる場合には理事之を代理し缺員の場合には其の職務を行ふ

第四十五條　組合員は代理人を以て議決權を行ふことを得此の場合に於ては之を出席と看做す

代理人は代理權を證する書面を組合に差出すべし

代理人は組合員又は同居の家族なることを要す

第四十六條　組合長は定期總會の會日より一週間前に財產目錄、貸借對照表、事業報告書及び剩餘金處分案を監事に提出し且つ之を主たる事務所に備ふべし

組合員及び組合の債權者は前項に掲げたる書類の閱覽を求むることを得

第五十條の二　金融組合が出資一口の金額の減少の決議を爲したるときは其の決議の日より二週間內に財產目錄及び貸借對照表を作るべし

組合は前項の期間內に其の債權者に對し異議あるときは一定の期間內に之を述ぶべき旨を定款の定むる方法に從ひて公告し且知れたる債權者には各別に之を催告すべし但し其の期間は二月を下ることを得ず

第五十條の三　債權者が前條第二項の期間內に出資の減少に對し異議を述べざりしときは之を承認したるものと看做す

債權者が異議を述べたるときは組合は之に辨濟を爲し又は相當の擔保を供するに非ざれば出資の減少をすることを得ず

第六十七條　金融組合が定款、本令に基きて發する命令若は本令に違反したるとき又は公益を害する虞あるときは監督官廳は總會の決議を取消し、組合長、理事若は監事の改選を命じ又は組合の事業の停止を命ずることを得

組合の事業の經營困難なるときは朝鮮總督は組合の解散を命ずることを得（續く）

金融組合令改正に就て（一）

鈴木度支部長官談

今回制令第十三號を以て地方金融組合令の一部を改正せられたるに付ては其改正の理由を左に說明せむとす

抑も地方金融組合は中流以下の農民の金融を緩和し其の經濟の發達を期するを目的として明治四十年以來漸次各地に設立せられたるものにして大正七年四月末日に於て既に組合數二百六十個所を算し組合員數十二萬餘人拂込出資金五十一萬圓、預り金七十五萬圓、貸付金三百九十一萬圓に達し各組合とも概して良好の成績を收め地方產業の開發に貢獻せること鮮少ならざるも翻て顧れば其の組合員數は僅に朝鮮農家戶數の百分の四六にして其の貸付金額は農家一戶當一圓四十八錢に過ぎず之を內地產業組合の資金の供給に比するときは內地の一戶當貸付金は五圓三十錢にして其の三分の一にも達せず前途望洋の歎なくむば非ず茲に於てか地方金融組合令に改正を加へ從來組合員の資格は農民に限りたるを小商工業者其の他の下層民に及ぼし益組合の增設を圖り且市街地に於ては主として小商工業者の爲に都市の組合を認め更に之等金融組合の提携及び上級金融機關との聯絡を圖る爲金融組合聯合會を設置し依て以て下層金融の設備を全からしめむとす今金融組合令に於て改正せられたる主要の點を擧ぐれば左の如し

▲名稱　地方金融組合なる名稱を廢し單に金融組合と改めたり

▲組合員の資格　組合區域內に居住する者は其の職業の如何を問はず組合員となることを得

▲設立　農村金融組合は從來の如く監督官廳の斡旋の下に設立し都市組合は地方篤志者を慫慂して自由に設立せしめむとす

▲業務　金融組合は組合員の爲に預り金及び貸付業務を營むを本體とし都市の組合に於ては手形の割引を認め農村組合に於ては手形の割引を認めざるも從來營み來りし委託販賣、共同購入の如き物品取扱に關する業務は當分の內其の經營を認めたり而して貸付金は從來農事上必要なる用途に使用するものに限られたるを苟も組合員の經濟の發達に必要なる資金は總て貸付し得ることゝせり

▲出資一口の金額　都市金融組合に於ては拂込出資金は運轉資金中有力なる部分を占むるものにして農村等に於ても一般經濟狀態の昂進著しきものあるを以て總ての組合をして出資一口の金額を十圓以上五十圓以下とし一口の金額は定款を以て適當額を定むることゝせり

鮮銀秘書役長

新たに設置さる　國庫課長の異動

朝鮮銀行にては今回秘書室に秘書役長を新設する事となり庶務局國庫課長兼秘書役飯泉幹太氏を專任秘書役として秘書役長に任じ國庫課長の後任は庶務課調查委員會計主查熊川孝吉氏を課長心得たらしめたり

東拓所長會議（第四日）

二十七日引續き東拓支店にて出張所長會議の第四日目を開き同夜清華亭にて社員の懇親宴を催せり

議員團動靜

支那視察中なりし衆議院議員磯部、井戸、川口の三氏並に中村書記官一行は二十七日午前八時南大門驛着列車にて入京鈴木度支部長官、遠藤秘書課長林事務官牧山代議士等の出迎を受け巴城館に投宿せしが午前九時半頃總督府に山縣政務總監を訪問入京の挨拶を爲したる後京城市內を見物し午後七時より朝鮮ホテルに於ける山縣政務總監の招宴に臨み一泊、二十八日午前八時四十分南大門發南行の豫定也

宇佐美長官歸任期

宇佐美內務部長官は二十六日午後四時東京驛發歸任の途に就きたる旨其筋に入電あり二十八日午後九時南大門驛着歸任す可し

木村大田兩理事　來京

木村東京駐在鮮銀理事は殖產銀行設立委員として又大田大連駐在理事は事務打合せのため廿九日若くは三十日中に入京の豫定なり

鮮銀總裁張宴

朝鮮銀行の美濃部總裁は代議士鮮支視察團一行磯部尙氏外四名入京に付二十七日正午より明月館に一行を招待し午餐會を催したり

高野店長歸期

三井物產支店長高野省三氏は會議のため東上中の處三井物產支店長會議終了せしも諸種の要件あるに付その歸任は七月上旬に入るべしと、因に廿六日夕刊に廿五日平壤より歸京とせしは誤り

人事消息

▲池淺稻生氏（土木局元山出張所技師）二十六日附出府を命ぜらる

▲重田勘次郞氏（咸興高等普通學校長）京城、大邱、鹿兒島、福岡縣、東京府へ出張を命ぜらる

▲三木進一郞氏（咸北道事務官）廿七日朝出發歸任

北海道より（十二）

天民生

函館著早々、道廳より迎への人來り、かねて懇意なる海保技師な

題茅齋墨竹

堪南　市川　堪南

斐然驚世有文章。墨竹淋漓又擅場。良匠從來苦心在。前師汪李後蘇黃。

蕃堂曰、土井翁學竹、傾出于儒學餘技、所以天下無雙、

春雪

柏堂　里野　爲

昨夜東風送峭寒。曉來春雪撒闌干。小樓高捲湘簾坐。猶倣香爐峰下看。

蕃堂曰、筆致靈妙、不讓白樂天、

秋夜

小坡　小林　勝

皓然明月滿秋宵。鴻雁飛來魂似消。此夜登樓莫吹笛。不勝愁思更凄寥。

蕃堂曰、居然唐調、餘韻[illegible]

冬曉

霞醉　和田　世民

殘月依稀入小亭。枕邊寒透夢初醒。珊珊有響霜橋度。蕭蕭何[illegible]簷鈴。木落老僧閑掃砌。林空飢鳥厭殘檣。蕭條別墅無人訪。日出三竿猶啓扃。

蕃堂曰、提要之狀寫得逼眞、

海天帆影

鹿城　頤崎市次郎

海天一碧水雲長。數點帆檣映夕[illegible]。龍釣漁翁何處去。孤帆遙影[illegible]

茶前酒後

○墺國は入軒長屋也名々勝手に出せば遂に家主も手を付る不能

○最惡に處せんが爲也賢明なる君は速に撤退せよと巴里政府云ふ

○其れッ逃ろと云よりも此の方が餘程穩也流石に何處迄も佛國式

○背見世野夫の滿洲入は一時は大分問題となりしも先づ無事に解決

○而も其談判中の陣地と云ふが滑稽也同社は支那國境より○米突半

○○米突半と云ば僅に一尺七寸強故に國境を去る一尺七寸の處に陣

○其でも露國內と頑張る處は面白し露西亞と支那の事は全く論外也

○支那と云へば新國會議員の選擧は隨分撤底的の干渉行はれたる如

○參議員の當選者中に中央より探士詰の見ゆるは甚しく人目を引く

○馮總統の一子馮家遂倪嗣仲の子倪道杰曹錕の弟曹鈞等を筆頭とし

○張敬堯の弟張敬舜姜桂題の子姜兆瑞等貴族の子弟相踵で當選す

○民派新聞は是等の議員を宜しく貴族員と稱せと野次る其も面黑し

○興安嶺方面視察歸還の菊地泰天大佐曰く哈市には到る處留布帖あ

○希望の人は隨意に拾つて來るしと其處に咽喉を鳴らす者は誰か

南京の畫趣は無限

支那寫生旅行より歸れる＝田南岳璋畫伯談

巡警と兵隊護衛の下に寫生

畫家田南岳璋氏は支那方面の巡遊を了し二十六日午後七時釜山著釜山埠頭に立ちて淸潤の寫生を爲し同夜八時三十分發連絡船高麗丸にて歸りの途に上りたるが船中往訪の記者に語る

◇津浦線の勝景は時局柄注意があつて描けなかつた

自分の支那行きは數年來の宿望であつた

◎日本畫家として鮮滿支那に研究を遣つた者は僅かに應業、大觀、北海、眉仙京都の關雪の諸氏に過ぎないのみならず其の後絶えて居た譯である今回の支那旅行は一分時も惜んで廣く畫材を蒐集したい目的だつたので隨分醉かつた、上海に著いたのが五月七日であつたそれから

へ呉淞、蘇州、杭州

上海を經て南京に到つたが南京の畫趣は實に雄大無限だと思つた、漢口を過ぎ揚子江を遡行して行程三百里、辛苦の反面に藝術の興味を得た事は少くなかつた曲阜泰山に登つたが此處も亦題材は豐富なものであつたそれから天津、北京、張河口に山海關、奉天、大連旅順より

◎平壤京城を過ぎて漸く此處まで來た譯であるが此の間スケッチブックに納めたものが約六百である、支那方面でも多少は支那繪畫を見ぬでもなかつたが大體に於ける研究は內地で充分であらうと思ふ何れにしても支那に於ける畫趣は殊に南支那に於て豐富に卓越を見る

◇日本勢力が擴大されて南北の爭ひの眞只中を旅行するにも頗る好感を以つて傅けて貰つた事は喜ばしい事であつた旅行中種々の滑稽も演じて來た先づ呉淞だつたと思ふ一人の老婆を寫生して居ると數十の土人が蝟集して來て妨げるので色々聞いて見ると支那の迷信として

◎自分の姿を寫されると短命だとの事で大笑ひで逃げ出して舟を雇入れ舟上で目的を遂した西湖では日々の旅行に見慣けの通り異黑となり濕手拭で鉢卷と云ふ格で寫生して居て印度人と間違へられた事もあつた、最も愉快に感じたのは南京の某橋上に立つて寫生をして居ると傍の土民が群集して來るそれを

◇巡警が追ひ拂つて呉れ兵隊護衛の下に描き了つた事である、泰山であつた自分等の宿が北支那討伐の爲め進んで來た北軍の宿舍に徵發された時自分はブックを開いて畫家だと話した處が特に自分等に一室を與へて呉れた事は少からず嬉しかつた、津浦線汽車中で轉映する諸題も頗る自分の畫趣を唆つたが某官の注意があつて

◎軍隊轎送の關係上間諜と間違へられる恐れありとの事で思ふ儘に畫帳に收める事の出來なかつたのは憾みであつた(釜山)

◆賀彥王御送葬

雨の日曜やかに悲しく

久邇宮賀彥王葬儀廿七日京都泉山にて行はる葬列雨の町を靜やかに過ぎ行く處悲しみいとも深かりき(京都電話)

◎飛行學校＝創設さる

陸軍飛行學校は愈々本年十二月より創設さるべし(東京電話)

◎東京地方強震 震源駿河か

二十六日夜十時四十六分東京近縣一帶に强震あり家屋の動搖激しく時計の振子止りたる程なりしが震源地は駿河地方なりと(東京特電)

◇袁世凱の三週年祭

六月十四日故袁世凱の舊里なる河南省彰德に於て其の三週年祭が盛んに擧行され各總長、徐世昌、梁士詒、周自齊等を始め軍、政界の重要人物は殆んど列席したり、所謂河南の秘密會議の噂さうはされ居れり

寫眞(上)袁世凱の墓(下)參拜の光景にて(一)前より農商總長田文烈、交通兼財政總長曹汝霖、教育總長傅增湘、內務總長錢能訓(二)原大總統代表徐邦傑上將、陸軍總長段芝貴、海軍總長劉冠雄、[illegible]上將、王揖唐[illegible]長(三)張一麐秘書長、黃開文大禮使等なり

◎大阪府下水害

山陰線一時不通

大阪府下の河川は强雨の爲め增水し京阪以西には被害の箇所多く鐵道線路に岩石落下し爲に山陰列車は一時不通となれり(大阪特電)

▼紀伊大和增水

連日の雨にて近畿地方の諸川增水し紀伊大和等にては橋梁流失せるあり京阪地方にては昨年の水害に懲り警戒し居れり(大阪特電)

◎北濱控訴公判

前北濱銀行頭取岩下淸周氏以下一味の控訴公判は二十七日より大阪控訴院に開廷し事實の訊問を爲せり(大阪特電)

◎鯖の大漁

二十年來未曾有 景氣の好い北鮮

江原道通川郡臨海面庫底里及び同郡內面金蘭里附近の沿岸一帶に於て六月十六日以降二十年來未曾有の鯖の大漁あり漁獲高百五十八萬尾(三萬二千餘圓)に達したるが是が爲め同地方里民は毎戶平均

◇十五圓以上の臨時收入あり人夫賃の如きも忽ち一日一圓の昂騰となり一人一日三圓を唱ふるに至れるも尙需要を充す能はず目下農繁期にも拘らず多數の農民は濱邊にて稼ぎ居れりと又

◇咸北雄基にても近年稀なる鰤漁あり現在の從漁船は七十二隻にて漁網十三統を有し內地人漁夫二百十四名、朝鮮人漁夫二百四十七名乘込めるが本月七日より十六日迄に鰤二十萬八千餘尾(五千六百餘圓)の漁獲ありたる由その附近なる楡津も雄基に劣らぬ

◇素晴しき景氣にて日本水產會社及び山神組等は事務所、宿舍、倉庫、鹽漬場等の家屋を新築し居れりと

月賦販賣取締(三)

勸業債券 警務總監部保安課 馬場警視談

それで警視廳、大阪府等では敍上の弊害絕滅の爲め月賦拂込に依り其の拂込金が債券價格に達せざる以前に於て

▼當籤割增金を購買者に得しむる方法又は割增金附債券を擔保として貸附を爲し當該債券が當籤したる場合當籤割增金を得しむる方法等凡て債券價格以下の金額に對し當籤割增金を取得せしむることは其の形式の如何に拘はらず公安を害する射倖行爲として明治四十二年內務省令第二十號懸賞又は富籤類似其の他射倖方法提供の行爲取締に關する法令に依り之を禁止するに至つたのである此結果として內地に本據を有する此種營業者の多くは自ら朝鮮に於ても月賦販賣の契約を爲すことを得ざる譯ではあるが朝鮮に獨立の本據を有して居る營業者もあり將來會社令の支配を受けずして營業を爲さむとする者あるべきを以て今回大體內地と步趨を共にし格なる取締方法を講ずるに至つた次第なるが必ずしも警視廳其の他と同一の法律解釋に依り此際一般に禁止を命ずるが如きことを爲さず朝鮮では自ら別個の見解に依り左の如き方法を以てするものを

▼公安を害する射倖行爲と認め明治四十四年四月朝鮮總督府令第四十九號富籤類似其の他投票募集等取締に關する法令に依り之を取締ること、爲し其の他に於ては別段意味に於て之を禁ずる譯ではないのである

一、月賦金拂込が完了に至る迄は假りに債券の番號を定めて置き債券は未だ購買者の所有に移らざるものと爲し契約存續中其の番號が割增金附償還に當籤したるときは[illegible]

二、月賦金の一部拂込と同時に債券の番號を定めて一旦購買者の所有と爲し更に殘月賦金を全額拂込まで之を質物として營業者に預つて置くこと、し其の當籤番號如何に拘はらず當該債券が割增金附償還に當籤したる場合に於て之が[illegible]に與へる方法

火の出る樣な朝稽古

樺太鼓景氣よく初日を打つて……

新進澤山な鳳一行の活況

◇大元氣な大潮と能代潟の健剛 東京大相撲の第一日は晴天井を欲め込んだやうな好天氣、樺太鼓は景氣よく響いて好角家の血を唆る午前八時頃から明治町の相撲場に乘込んだ小牛田山、能代潟、眞砂岩、

◎鶴の海なんどの華形を始め數十の取的が盛んに申合ひをして居る處へ大潮、藤の川、琴ケ浦、錦島などがぞろ〳〵入つて來ると元氣者の能代潟逸早く藤の川を掴まへて申合ふ、

▼能代大に薙ぐ 能代潟は夏場所全勝の有望力士先づ健鬪藤の川を寄り倒して三杉を押切り大岬を寄切り鶴の海を極め倒し小田の山を寄切るなど大物を悉く薙ぎ倒して舌を捲かせ相撲上手の小兵眞砂岩敏捷隼の如く能代に突いて蒐れば能代右を差して四つになつて

◎大相撲となりたるもつひに辛くも能代投げられ代つて小田の山は眞砂岩に一回は掬ひ投げられ二回目は吊られて方角が惡いと頭を抱へて逃げ能代雪辱戰だと言ひさま勢猛に突聚し渡し込みかけもたれ上手投げ等にてぶつ倒す氣なり

▼大元氣の大潮

『フレー〳〵大潮』の大旗

大潮は病氣のため四貫目餘の體重減じたるも大元氣にて稽古の猛烈さは驚くばかり三杉磯、藤の川、大戶平など剛の者と盛んに申合ひたるが腰は強く上背はあり且つ

◎強力さて上手投げ落せかけ足かけ等にて相手構はず當め倒し、小兵の小牛田山蒐れば大潮訝田躍氣となりて遂ひにきつかへして勝は大喝采二回目は大潮わけもなくわたし込み貴樣なんどに手は要らぬと

◎揶揄たるも小牛田電光の如く懷へ飛び入つて前袋を取り切つて鼻を高くしたるは愛嬌、最後に眞砂岩と申合ひたるも突倒はたき込み上手投げあし掛等にて倒し汗みどろになつての奮鬪には見物も驚いたり其時大潮後援の

◎柳川人會員が『フレーフレー大潮』の大旗を翳して入場すれば『大潮景氣がよいぞ』と輕く手を拍ち傍に居た誰かに『什だい樣』[illegible]ものだ』と啖呵を切りたるは無邪氣なり

▼未來の橫綱たる

鶴の海、能代潟、越ノ嶽

尙本一行は稽古熱心の相撲多く且つ鶴ノ海、能代潟、越ノ嶽などは未來の橫綱と目され居る新進力士及び幕內には千葉、大潮を始めとして勇將猛卒多ければ稽古の猛烈さは從來の地方巡業には見る能はざる程なり

▼三方美形

天氣は好し

天氣は宜し人氣は昂るで初日の正午は場內見物で埋まり三條番の美形連も三方棧敷に陣取つたるは素敵な景氣にて午後一時頃本取組に入るや素人連の飛入りあり喝采を博したり

▼二日目取組

[illegible]知山	鶴ノ海
若葉山	大淀
小田ノ山	小牛田山
玉ノ川	伊達錦
眞砂岩	白岩
大岬	能代潟
三杉磯	琴ケ浦
大戶平	大潮
千葉ケ崎	錦島
藤ノ川	鳳

二日目日本社好み相撲

大潮	錦島

初ッ切として

甲州	小田ノ山

◎手當の早いのが最も肝要

パラチブス猖獗

京城に於けるパラチブスは相變らず續發の姿にて患者は殆ど內地人のみなるが、二十六日は本町署管內にて十四名の新患者發生せり其の中に京畿道一部長入澤重慶氏及び南大門驛長一瀨氏令孃ふじ子(一五)も犯されしが入澤氏は旭町一丁目小林醫院に入院せりと而して六月に入り府內にて百二十餘名の患者發生せしも患者の發見早きと防援手段の適切なる爲め殆ど死亡者なく大抵二三週間の入院治療にて快復轉歸し居れり若し手當遲るゝ時は助かるべき程度の輕症者も死亡するに至るべき由にて手當の早きが最も必要なりと某醫師は語る

◎宗信丸引揚

五月下旬鎭南浦下流にて沈沒せし朝鮮郵船會社の南浦大連航路就航船宗信丸はその後會社より日本海事工業會社に引揚げの委託をなす事となり結果海事工業門司支店より引揚作業のため相當船舶を派する事となり三四日中工事に著手すべし尙ほ水深深からざるに付引揚げは難事ならずと

◎深水氏令息 京城學校組合議員深水[illegible]氏の次男辰[illegible](三つ)は永く病氣中の處二十日午前五時永眠せり告別式は二十八日午後[illegible]時略式にて長沙洞妙心寺別院に於て執行の由

運動界

▼大連實業勝つ 大連實業團對法制大學野球團との試合は廿六日午後四時より開始されしが七對八にて實業團の勝となる(大連特電)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲俗謠(金魚)

庭の池の雨夕方晴れて金魚浮き出す青葉陰(一等) 渡邊 寒扇子

金魚鉢から夕立晴れて虹が見えます青すだれ 一川 花翁 生

[illegible]姿に生れた因果愛しや金魚の[illegible] 龍山 春香 生

金魚賣りには東の男金魚買ひには京の人 利川 浜光 生

[illegible]な姿が不幸か幸か金魚入手に浮世 [illegible] 登美子

金魚の鉢へ俯く青葉が散つて來る 久滿 美

移につるした金魚の瓶をなぜにならぬか[illegible] 同

全南木浦から西南陸地から稍々離れた所に大黑山列島がある其の一部に下苔島といふ一小島がある▲本月九日同島の沿岸に坐礁した汽船鹿港丸(二千四百五十五噸)は尙浮き揚らず目下作業中である▲其の檢分の爲め頃日同島に出張して歸つた木浦警察署長林警部からの報告書に依れば下苔島は全戶三十戶で此の人口朝鮮人男六十名と女八十名とで▲其外に大井幾太郞といふ內地人夫婦が居る、朝鮮人の中で文字を解する者が二人▲夫れでも畑地が百三十斗落あつて麥は年々九十石は採れ海藻と魚類とは豐富なものである▲其年收が海草で三萬斤(五千圓)と魚類が一千圓ある斯うした絕海の孤島だけに一箇月の生活費が一人當り三圓あれば充分であると▲物價騰貴の影響などは夢にも知らないさうだが[illegible]來するのは一日數回の漁船だけであると

讀者文藝課題募集規定

▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は本名の外に住所氏名明記の事▲一等賞は一名に五十錢書籍券を呈す▲[illegible]

天氣 晴一時曇

商況

東京期米特電

二十七日前場 二十六圓〇五錢

大阪株式特電

	寄付	後場
鐘紡	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十七日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十七日前場 [illegible]

下關期米特電

二十七日前場 [illegible]

下關相場

朝鮮米は不勢 其後白米は限先の原料買附案じ相場を引下ぐる餘地なく相場二十七圓六十錢見當を持合ひ居れり[illegible]

南大門の穀類

[illegible]

仁川正米

[illegible]

雜報

◎三品小高し

[illegible]

◎正米底堅し

[illegible]

◎狹き强弱材料の板挾

[illegible]

◎砂糖益々非乎

[illegible]

◎麥粉は不勢

[illegible]

◎白米持合ひ

[illegible]

仁川期米 二十七日前場

大阪天候小雨 [illegible]

受渡し方は大阪小西精米 渡し方は今筋に 米筋四千石、地場筋八百石

強氣筋の活動と一部の前途を招致

[illegible]

中先限に買占

[illegible]

仲買店

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

▲不自然の買煽り

[illegible]

買占め中先に向つて

[illegible]

仁川米豆取引所 二十七日の八月

[illegible]

北濱たより

▲追賣警戒

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店

仁川 [illegible] 商店

大正七年 二十七日後場 當限寄付 二十七圓九十一錢 [illegible] 仁川米豆取引所

◎仁川期米
△二十七日後場
大阪前止め二十五圓二十四錢の入先發著付二十五圓二十一錢四十九錢より七錢に打止めたり
△後場當中出來不申
△先限一節二十二圓八十三錢二錢三錢一錢八十錢一錢八十錢七十九錢二節七十九錢八錢九錢八十錢三錢五錢六錢七錢八錢七錢八錢三節

二十七日の八月限
寄付	二十二圓八十三錢
止メ	二十二圓八十七錢
高値	二十二圓八十八錢
安値	二十二圓七十八錢

◎連絡船上陸客
二十七日午前釜山入港高麗丸一二等客
一等（九名）村瀬鐵次郎、王潤貞、王松枝、西村道彥、武安嗣男、小寄弘道、山口片作、外人二名
三等（百七十八名）
廿六日午後釜山入港對馬丸一二等客
一等（十一名）武田顯三、丸山忠作、黑澤過藏
三等（七十名）

京都疑獄（二）

◇遊廓賦金問題

京都府郡部に於ける娼妓賦金は一箇月一人に付き四圓の定めにして前後十三箇年に亙り變更する事無く繼續徵收し來れり

然るに大正三年府會郡部會に於て來年度は一大財政整理を斷行し娼妓税の如きは引上ぐべきものなりとの聲を頗る大にして其の申合せをなしたり、これを聞きたる郡部遊廓の驚き一方ならず何とか採消策は無くもがなと此處に福知山遊廓岸秀造は憲政會代議士山口俊一氏と親族關係あり且山口氏と親族なる郡部會議長山内寛次郎氏と提携せる一方宮津遊廓岡田常助橋本遊廓福見虎吉中書島遊廓芝山小三郎新舞鶴龍宮新地田中民次郎中村松之丞等と協議し郡部各遊廓聯合會なるものを組織し伏見に事務所を設置し各遊廓代表者を派遣し大正四年の府會開かるゝに當り一大運動を開始し賦金低下を提唱せり斯くて福知山猪崎新地は山口憲政會代議士を裏面に山内寛次郎大槻条議兩府會議員を表面に宮津新濱、舞鶴朝代、新舞鶴龍宮、餘部加津良の各遊廓は前憲政會代議士津原武氏及び辯護士にして丹後遊廓顧問砂田某（目下神戶に在り）を橋本遊廓は河原崎文二氏を、中書島遊廓は田中源四郎氏を動かしたり、而して西富組なる前記山内、大槻、田中（平）、布浦、北村、小笹、木戸、高木、石田（兵）、若彥組なる河原崎、山下、奥田（新）村上、萩原、五十嵐、奥田（駒）等の議員は增税反對所か減税を主張するに至れり、當時津原武氏は砂田木戸氏等と上京大森知事、井手庶務部長等を訪問極力陳情せり

然れども形勢面白からざるより一大運動とはなり津原氏と同黨員なる白須金左衛門氏は餘程熱中せしが如く府會は該問題を委員會に一任したるが白須氏は恰も委員長にして一人四圓の賦金を三圓五十錢に修正を可と認め府會は滿場一致にてこの修正案を可決せり府に於ては爲めに一箇年の收入に於て三千圓の減少を見るに至りたり府全體の收入より見れば左程痛くも且つ痛痒ある問題にもあらざれど郡部遊廓はこの議員等の在職中に於て一萬二千圓餘を利するに至れり即ち昨年に於て引上げをなすべしと呼號したる本問題が却つて低下するに至りし其間に於て醜行爲のありしやは想像さるべき事にしてさてこそ司法權の活動を見るに至りしものなりと因に該問題にして不當なりと認むれば大森知事は採擇せざりしならんも知事も亦之れを通過せしめたり而して當時の府郡部參事會員は木戸貞一、布浦、山下、河原崎、村上の五氏にして木戸氏は舞舞港問題にて公金費消の罪を被り布浦、河原崎兩氏は選舉違反に罹りしが今又山下氏並に山内、田中（平）大槻氏等始め各遊廓取締等と共に本問題に連座し村上氏獨り殘りて氣遣れつゝあり但郡部議員は獨り本問題のみならず々悔々たるものあるなり（大阪支局）

麥酒原料麥

長崎縣のゴールデンメロン試作

本谷慶北農事主任技手と倶に慶北管内にかける麥酒原料麥ゴールデンメロン試作地視察に向ひたる帝國麥酒株式會社々長關口伊賀彥氏は此程視察を畢へ他地方へ向け出立したるが歸來本谷技手に就き其の狀況を聞くに同會社にては今後年々消費しつゝある原料五萬石を朝鮮に於て栽培せしむる計畫にて

蟹

水田を荒す被害
どうして捕採するか

忠南舒川郡に於ては目下挿秧の盛期なるが諸河川沿岸及び海濱の水田に於て蟹の爲め移植稻苗噛み切りの被害に罹るもの多く爲めに苗の不足を訴ふるものさへありと其の驅除豫防に付道當局の語るところによれば朝鮮甕の高さ一尺五寸口徑一尺二三寸なるものを被害水田面と同位に埋沒し水の爲浮き上られぬ樣裝置し甕の口には腐敗魚肉を懸垂し夜中臭氣を嗅ぎ魚肉を喰はんとして來集する蟹を甕に陷落せしめて翌朝捕獲するを最も良法とす夜中は蟹の活動最も活潑にして降雨に際しては殊に捕獲數多く一夜に一甕に付百疋以上陷落することあり甕に來集するものは五六間の距離に孔を穿ちて蟄居するものなれば五六間每に甕を裝置すること肝要なり蟹孔に生石灰を投入することも効なきにあらざるも前法に及ばず尙河川及び海に面せる畦畔には蘆草其の他の材料を用ひて簀を作り外より來るものを防止すべし水稻の生育進まば被害輕減するものにて挿秧當時に於て注意せば可なり（公州）

ゴールデンメロンの試作 慶北地方に於て昨年始めて慶南に百町歩の試作方を兩道廳に依囑したるものゝ由なるが元來ゴールデンメロンは晩熟性の麥なるを以て南鮮を選みたるものにて其種子の如きも南鮮地方と略ぼ氣候の類似せる長野縣より取り寄せたるものなるも該麥は大麥に比し生熟期少くとも四五日遲き關係上現今奬勵中に在る陸地棉の發育を碍げ其前作には不適當なるを以て棉作に不適當と認めらるゝ東海岸に臨める迎日郡の如きは約二十町歩を試作したるものなるが今回視察の結果例年に比し雨量極めて尠く今春來旱天續きなりしにも拘はらず成績頗る良好にて普通民地に於ける上作として四石内外の收穫を見るを當とせるに比し三石内外の收穫を豫想せしめたるを以て漸次擴張せらるゝに至るべく、殊に水利組合の地域内は水田の二毛作として栽培するときは棉作と衝突の虞れも無く適當なる山、現に迎城郡にては東拓移民の水田二毛作として試作せしめたる處成績良好にて三石五斗位の收穫は得らるゝ見込なるが元來日本よりの移民は二毛作の心得に乏しきを以て本年は相當の計畫を樹て極力之等に對する二毛作を奬勵せば遠からずして同會社との間に二、三萬石の契約を爲し得るに至るべしと（大邱）

◎慶北と新蠶種

慶尙北道に於て本年初めて飼育せる新蠶種二萬餘枚の成績は初飼育にも拘らず成績頗る良好にして豫想外の成功を收め將來朝鮮蠶業上に根本的改革を與ふるものとして斯業者は等しく注目しつゝあるが之が原因は新蠶種は稚蠶時に於ける寒冷は敢て意とせざるも壯蠶期に至ては絕對に寒冷を嫌ひ華氏七十五六度の高溫を以て最適度となすものなるに（慶北の氣候は恰も之に適す）掃立當時は鮮人普通住家なる溫突内に火氣を斷ちて飼育するに因り適當の溫度を保ち、壯蠶期に入りては氣候急轉して溫度向上し新蠶種に最適せる熱度を示すを例とせるが故に此の結果に亦新蠶種に適當し殆んど自然の氣候に於て（附終する良なき天惠なかるは）蓋固せり尤も僅々一年の成績を以て直ちに新蠶種飼育の最適地と斷ずるは聊か早計の嫌あるも今回の成績は決して偶然的のものに非ずして合理的なるより見れば朝鮮殊に慶北の地は交配種飼育の最適地と見るを得べく來年度よりは一層其飼育を熾にしたきものなりと某當業者は語り居れり（大邱）

蠶況

◇春蠶（忠南）忠淸南道昨年及び本年の春蠶成績左の如く又た價格は平均八十五圓なり（公州）

種別	昨年	本年
掃立	一六、三六四枚	二二、九五九枚
産繭	三、四六〇石七	五、〇九〇石

◇游泳術◇

（六） 神傳流游泳範士 林 茂敏

游泳と初心者の注意

入水前の注意 空腹の時或ひは疲勞したる時等も亦游泳には頗る有害なり斯の如き場合は必ず少量の食事を爲し又は身體を休息せしめて體力を養ひ然る後游泳するを良しとす、更らに水泳前に在つては必ず全身の皮膚を磨擦し血液の循環を活潑にし諸關節を屈伸し呼吸を試みて後入水する事を怠るべからず直ちに入水游泳する時は不意に手足を激動するを以て忽ち疲勞を生じ或ひは痙攣を惹起す等の事あるものなり

水中にての注意 水に入りたる時は直ちに頭を水中に浸し精氣を沈靜して後に於て徐ろに泳ぐべし又水泳中は時々頭部を水中に浸すを良しとす殊に日光熾烈なる時頭部を直射せしむるは宜しからず時々水中に沒して常に濕潤せしむる事を怠るべからず初心者に在りては特に頭部のみならず何れの部分に於ても乾きたる場合には水を以て潤すを可なりとす初心者游泳中浪を被りたる時又は水中より顏面を出だしたる時直ちに掌を以て顏を撫で水を拭ふものなり衞生上何等の支障なきも若し危急の場合に遭遇とする場合其の動作に大なる妨げをなし或ひは波浪激しき水中に泳がんを爲するのなるを以て此の常癖は勉めて改むるを良とす

揚陸時の注意 水より上りたる時に直ちに乾きたる布を以て全身を能く拭ひ然る後衣服を著して靜かに休息すべし水泳後微溫湯又は冷水に浴するは最も宜し殊に海水に泳ぎたる場合の如き必ず淡水を浴びざれば不快の念を感ずるものなり又水泳中耳に水の浸入する事あり此の場合には必ず之を取り去る事を怠るべからず然らざれば耳内部に腫疾を生じ中耳炎の原因を爲す等の事あり此の水を取り出す方法としては通俗一般に用ひらるゝ如く頭部を傾けその傾けたる方の片足にて跳上り再三之を繰返へし水を出す事を得或ひは又紙撚の先を柔らかにして耳中に差し入るゝ等適當の方法を以て耳孔の掃除を爲すを必要とす

農信

◇忠南の稻と麥◇

◎稻 苗代移植の成育良好にして用水潤澤なれば植付は既に五割方を終り用水の餘力は二割あり

◎麥 麥作成績は大麥五十一萬七千九百七十七石（前年實收に比し二割九歩增）小麥八萬六千〇十六石（前年に比し二割五歩增）

◎挿秧（平南） 水稻は例年に徵すれば昨今已に移植を終了し居るべき筈なるも本年は例年に比し時候遲れの爲めか一般に遲れたるもの、如し六月上旬に移植したるものは用水不足を感ぜざりしも六月十日以後のものは用水に不足を來たし植付不可能なりしが廿二日來の降雨にて全部植付を完了す可し（平壤）

◎麥作（平南） 大麥小麥とも今春來の旱魃の爲め各地とも成績良好ならず農家は失望せしも五月中旬降雨あり其後又々降雨なく前年に比し一割二三分の減收は免れざるべし例年大麥は一萬九千四百石小麥は一萬九千三百石位なるが本年は大麥一萬八千石小麥一萬三千石位の收穫成績ならんと平安南道の麥本技手は語れり（平壤）

◎春蠶（平南） 本年度平安南道に於ける春蠶は豫想の如く一萬三千石の收繭あり各地方とも桑の不足を見たるも幸ひ成績良好にて上物にて九圓七八十錢中物にて八圓三十錢のところにて取引されつゝあり（平壤）

◎外人通過客多し

◇一ヶ月に三百何十名◇

昨今釜山を通過する外人は著しく增加し昨月中の如きは南行百二十餘名北行百二十餘名の多きに達し居れるが本月に入りては益々增加し目下一日平均約二十名を下らず之等は主として露國人最も多く右は米英佛人之に次ぎ居れり尙ほ七月は内地に避暑の爲め旅行するもの多ければ向後の通過外人は一層激增すべし

◎長春の我野球團

米露聯合の野球團を破る

◇奉天野球團との決戰◇
◇遂に滿洲野球界に覇を稱す◇

廿四日は長春滿鐵グラウンドに於て奉天野球團の遠征を迎へて雌雄を決すると共に露米聯合軍の野球團とも其の實力を爭ふ事となりし長春チームは練習に餘念なく其日の來るを待ち居たりしが當日は三日來の雨天に引換へ跳へ向きの運動日和となり且つ暑くなく風もなき事とて應援團を始め見物人多數來集し郷々の賑ひを呈したるが長春軍對奉天軍の試合は午後二時に始まり三時半を以て終了せしが長春軍の勇戰奮鬪には左しも遠來の奉天軍も敵せざりけん遂に十對十四の記錄を殘して長春軍の勝利に歸し奉天軍は來るべき雪辱戰を期して引揚げしが同四時より長春軍は再び露米聯合軍を對手として奮戰したる結果七回目に至り長春軍は聯合軍の六に對し十二點を得たるも時間の都合により五回半其れにて中止されたるが二十四日午後三時より再び露人倶に應戰昨日に劣らざる奮戰をなして美事長春軍、手に月桂冠を得六時三十分終了意氣揚々として引揚げ近く他の強チームとも對戰し一時衰微したる長春チームを以前の滿洲に於ける最強チームとなさんとて何れも意氣込み居れり（長春）

京日愛讀者優待
東京大相撲
木戸割引券
京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候
（京城興業中）
後援 京城日報社

京日愛讀者優待
東京相撲 特等割引證
此割引證を附錄記載の各商店へ御持參相成ば特等席（上段棧敷）木戸共一圓三十錢に割引しサツポロビール一本づゝ贈呈す
◇詳細は附錄記載の社告を御覽下さい◇本證は一枚一名限り但し小兒は二名まで
◇東京大相撲京城興行中通用す◇
京城日報社

本年流行の夏帽子
東洋本パナマ
景品附 破天荒の賣出
東洋本パナマ帽は品位高尙堅牢流行形全部手編みなるを以て冠り心地良く紳士向に適す本品は十圓以上の舶來品に遜色なし故に市價五圓以上にて販賣せる優良品を今回製造元たる大阪東區本町通信濃橋東詰の東洋物產會社（振替口座大阪一〇七六）では實物廣告の爲千個限り送料共甲極細三圓乙二圓卅錢と云ふ御値以下で賣出し御紀念の爲景品として「メッキの輪」を希望者は頭のインチを記し此好機を逸せず申込あれ因に此帽子は正の本金新ダイヤ入指輪（サック入）を一個宛進呈す由なれ決して眞正の本物でなく眞實の手編機織の如き物でなく眞實の手編であるから洗濯も出來る上等品である代金引換便の注文は四拾錢增
本金 新ダイヤ入 指輪

急告
時代の要求に依りあらゆる商店の最も安價なる仕入元を紹介す
本社の紹介する商品は如何に安いか返券封入照會者に詳細通知す
東京市本郷區丸山新町四一商援社

ぜんそく◎小兒百日せき◎肺病と
呼吸器の障害でお困りの方によい藥を頒藥します、ハガキでお知らせあらば頒藥方法其他詳細說明書無代送呈 東京築地二の三 松田喜一郎

一番よくきく
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
藥價表 四粒入金十錢 十四粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢 送料金六錢
（ニセモノあり御注意）
龍山元町二丁目
本舖 林藥房
京城本町 代理店 合資會社 山岸天佑堂
釜山辨天町 同 黑南海堂
平壤大和町 同 森田草藥堂支店

大募集
月收百圓以上
各學校用品文房具店並に特約店學校訪問地方外交員採用經驗不要
希望者郵券六錢添申込め見本送る
東京市淺草區松葉町四十一 帝國習字學會

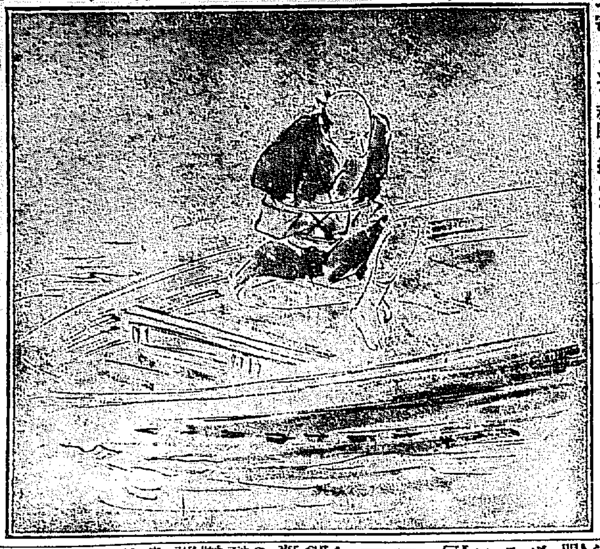
贊化病院
京城明治町一丁目
電話二四一番
内科 小兒科
入院隨意
無料施療す 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治

健胃劑
ホシ胃腸藥
主効
▽消化不良 ▽食もたれ ▽溜飲吐瀉 ▽飲過食過 ▽胃腸カタル ▽惡醉宿醉 ▽惡心胸痞
定價 廿錢 五十錢 一圓
東京 星製藥株式會社

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は
疲れ是迄と迷ふ無く
眞に能く効く
神痲湯
即刻試みよ現に
◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頑難治のリウマチスの人
◎數年固疾の痳氣で苦しみ人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸らめし人
なきが此良藥神痲湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀（現在保存一般の閲覽）を寄らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神痲湯は家方の良藥として今や全國各藥店に有り
直に能く効く 神痲湯
◎こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、痔丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛◎彼處此處と移動し◎何となく惡く◎腹張差込◎腹なり胸つかゑ◎御飲◎食進まず又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎寒氣◎逆上◎血暈◎目眩◎耳鳴◎頭痛◎齒痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎根氣薄らぎ記憶あしく◎氣鬱◎神經病◎物事に感じ易く◎顏手足の浮腫等癪氣、リウマチス、神經痛と胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神痲湯を試みよ
價錢 一週分廿五錢 一週分六十錢 二週分一圓 三週一圓六十錢 五週分二圓五十錢 十週分五圓 二日分廿錢 試用
名古屋市東區京町二丁目
本舖 荒川長太郎 商會
電話 本局千百二十七番 振替 東京一二四三番 大阪二二六五番

◎豫報
▲二十八日「心細いものは」▲二十九日「疑旋さかけて」▲三十日「一口噺 時事」▲一日「下付付「大相撲」▲二日「俗謠「浴衣」
▲豫報の事 廿八日 廿九日 三十日 一日 二日 三日 發表後一週間以内に到達して一箇月以内の事を限る事紙上にて發表後一週間以内に剽竊又は同案を見出したる者には五十錢の書籍券を呈す▲宛名は但何番何號と明記に限る▲京城日報編輯局諸者文藝係

◎京城滿潮
（二十七日正午）前日最高溫度 八十一度 … 二十九度
（午）八十度 … 最高氣溫 七十九度 …



塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第百十九席

鳥山石庵先生船頭猪之助の口から塚原小太郎の居所を聞いて大いに喜こび、父娘と顔を見合して思はずヽたと膝を叩いた　石『さうか小太郎は小石川の島村小才治の許に居たのだな　猪『さうでございます逃げる筈はないのでございますが……　石『逃げる筈はない、之れから逃がすのだ……　猪『ヘエッ、何でございます　石『小太郎の居所さへ聞けば宜いのだ　猪『何んだか些つとも判りません　石『之れから判るやうにして遣る、ソレ照代殿、猪之助を縛つてお了ひなさい　照『ハイ』といふを照代が猪之助の側へ寄りムヅと利腕を掴んだ、アッと驚ろいて猪之助が振放さうとする奴をグイと捻上げたが小笠原丹波守先生の仕込みで女ながらも腕前勝れたる照代だから其力は大したもの、逃げやうとしてバタ／＼暴れる奴を苦もなく捻伏せて手早く腰紐を解いて兩手をシカと縛りグル／＼卷にして泄いて襟髪を取つてグイと引起した、猪之助はビツクリして何が何やら譯も判らず狐に魅まれたやうにキヨロ／＼見廻して居る、石庵老ズイと進んで　石『どうだ猪之助驚ろいたか、塚原殿の居所を知りたいばかりに上みに工んだ計略だ我々三人は塚原小太郎とは切つても切れぬ親戚同様の者だそれとも知らずペラ／＼と喋舌つたは貴様の運の盡きといふものだ、アハヽヽ』と打笑つた、下國佐大夫も　佐『之れも鳥山先生の御骨折、一つはまた塚原小太郎殿の武運の盡き給はぬ處と觀世音の御利益であらう』照代も喜こび　照『何は兎もあれ早く小太郎様に……　佐『さうだ早くお知らせ申すが宜い、鳥山先生此奴は何うなさいます、證人として小石川へ引立つて參りませうか　石『それも大變だから此儘川へ投込んで了ひませう』猪之助之れを聞いて驚ろいたの何のではない　猪『どうぞ御勘辨下さいまし、決して惡氣があつて塚原様を殺さうとしたのではございませんから……　石『馬鹿野郎、餘まり善氣でもなからう、兎に角之れだけ聞けば充分だから一刻も早く小石川村へ參つて塚原氏に知らせやうそういへば私も聞いた事もある、何んでも小太郎の母方の叔父とかに當る者が江戸に居るといふ事は土佐守殿か小太郎殿か何方かに聞いた覺えがある、大方その島村といふのがそれに違ひない、夜更ぬ中に尋ねやう』兹で佐大夫が櫓を押して間もなく淺草河岸へ漕戻し、猪之助は縛つたまゝ船の中へ轉がして置いて、三人岸へ上り、船の艫をポンと突いたから折から増したる川水に流されて、下手の方へドン／＼流れて行く、猪之助ワーッと聲を上げて泣出した、意氣地のない野郎で三人は笑つて其れから道を急ぎ小石川村へと參りまして島村小才治といふ郷士と聞くとスグ判りました、小石川の白山で大きな構へ家は堂々として居ります、門を叩いて案内を頼む、召使ひが出て來て通用門を開き　○『誰方様で　石『我々は尾州熱田から遙々參りました者、此方に塚原小太郎殿御逗留の由、承はり夜中ながらお訪ね申しました、宜しくお取次を』取次が　○『少時お扣へ下さい』と奥へ入る、塚原小太郎は島村兄妹と一間で物語りをして居た所、取次が參りまして　○『只今尾州熱田からお在になつたと仰しやいまして三人のお客が塚原様にお目に懸りたいと仰しやいますが如何いたしませう』之れを聞いて小太郎　小『ナニ尾州熱田から參つた者があるとイヤソレは／＼多分鳥山先生であらう、拙者が參りませう』と自身門前へ出て來た、見ると夜目でございますが三人連れの中、前に居るのは正しく鳥山石庵老人　小『コレは鳥山先生ではございませんか何うして御出でございましたか』

人參王天
京城本町壹・電話一四八〇番 八七〇番
津村兄弟商會

牛乳
御用 衛戍病院 朝鮮ホテル
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

六月廿九日　九星
舊五月廿一日　丁未
木命　二黒　坤　除　先勝

▲二黒　[illegible]
▲三碧　[illegible]
▲四綠　[illegible]
▲五黄　[illegible]
▲六白　[illegible]
▲七赤　[illegible]
▲八白　[illegible]
▲九紫　[illegible]
▲一白　[illegible]

演藝案内

天活色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
黄金館
電話二二六三七 二六六
六月廿一日より差替プログラム
▲西洋新派 [illegible]
▲寶録(?) [illegible]　全三卷
▲探偵大活劇『ミスタングゲット』
▲新派活悲劇『二ッ蛇の目』全四卷
[illegible]

愈好評の經濟的事務用(金ペン付)
パインビジネスペン
定價壹圓九拾五錢
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

大正館
櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲富る二十八日より新寫眞提供
▲英國シーエフ支社作 大滑稽『チャプリンと行燈』最長尺
○軍事活劇『勇敢なる兵士』全三卷
▲山本嘉一 吾妻猛夫一派出演
○新派悲劇『雁の便り』全四卷
▲尾上松之助一生一代の大胃險劇
○舊劇『夏目千太郎』全四卷
[illegible]

壽館
京城本町 電話一〇五〇
豫告
[illegible]
▲春色咲分梅
『大石東下り』
『流祖録』
[illegible]

有樂館
活動寫眞常設館
早川演藝部直營
電話(階上)二五九 七番(階下)二〇五
[illegible]
○人情活劇『ラスは何處へ』全二卷
○人情劇『人悲劇』
○舊劇『人情』
[illegible]

質
倉庫完全　債券買入
京城櫻井町二丁目 舊花園町 電話三一〇三番
杉本質店

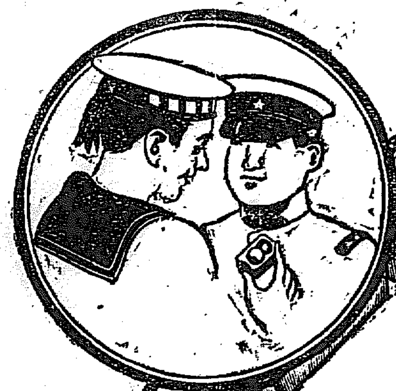
加平地方金融組合(更正)
一 資金ノ總額ヲ貳千百五拾八圓參拾六錢五厘但大正七年參月末日現在
右大正七年六月貳拾五日登記
京城地方法院加平出張所

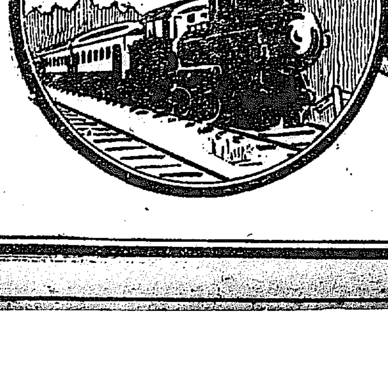
品質本位

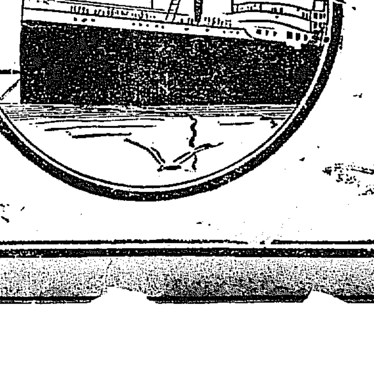
花王石鹼は

我が國産石鹼の鼻祖にして、品質の純良と價格の至廉とを以て知られ、産額發賣以來三十年の信用を重ね、に於て優に國内隨一として許さるる

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字慈惠其他著名なる病院、鐵道院、日本郵船會社等を初め、上下一般社會の常用石鹼として愛用されつゝあり







汽車　京釜線(南行)　同(北行)　湖南線(南行)　同(北行)　京義線(北行)　同(南行)　京仁線(仁川行)　京元線(北行)　同(南行)
[illegible]

京城日報
二十八日朝刊（朝刊夕刊を併せて八頁）
第五版

仁川期米
△二十七日後場 大阪前止め二十五圓二十四錢の入 [illegible]

本紙定價 壹部參錢・壹ヶ月七拾五錢・前金[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話[illegible] 振替口座[illegible]

京城日報
獨逸の目的

去三月二十一日獨逸軍佛蘭西戰線に於て攻勢を取りしより以來四箇月に渉り、間歇的に攻擊を試みつゝあれども、其成績に就て之を見るに只獨逸軍は若干を進み、英佛軍は若干の後退を餘儀なくされたりと云ふに過ぎずして、何等勝敗に關する事柄なし、當初世間皆獨逸は英佛軍の連接點を突破して其連絡を斷つの目的を以て猛進し來れりと爲したれども、英佛軍の連絡の斷つべからざるとは既に明白なり、於是乎彼の目的何にありやといふ疑問を生じ來れり。

或は曰く獨逸の目的とする所は巴里を攻陷するにありと、成るほど今早春ヒンデンブルグが新聞記者に談るに、四月四日を以て巴里に入るべきことを傲語したるを思合はすれば、其志圖此にありしことを推測し得ざるにあらず、併ながら巴里攻陷といふが如きは佛蘭西一國を敵として戰ふ者にのみ重要なるべしと雖も今日の獨逸は英佛伊米其他世界各國民を敵として戰ひつゝあるを以て、假令巴里を陷れたりとて決定的勝利を得たりと云ふべからず、現に戰爭の初め佛國政府はボルドーに移轉し巴里は侵入軍の指呼の間に在りたれども獨逸はこれに依りて何ものをも得ざるのみならず、マルンの一敗に大損害を被ふむりたり、最近巴里の危險を傳ふるものあり、市民中には或は既に他に移轉したるものもこれ有るべしと、今後戰局の變化如何に依りては一層危險を感ずること無しとせざれども、是等は畢竟戰時の常事にして敢て怪むに足らず、若し獨逸にして飽まで巴里を攻擊することを求めて多大の犧牲を拂はゞ、結局自ら塗地の敗を招くに過ぎざるべし

然れども獨逸は決して何等の目的なくして此度の大攻擊を開始したるものにあらざるや論なく、其の初めに於て目的としたる所のは、或は失謀に歸したることもあるべし、只今日の現狀に就て之を見るときは、獨逸の大攻勢は則ち講和促進を目的とせるものと爲すの外なく、彼は佛國戰線に於て力戰奮鬪しつゝある間も、佛蘭西に對する講和運動に怠らざるなり、即ち善く戰ふと雖も其實力自ら限りあり、其國民亦戰爭を繼續するの意思なし、乃ち當面の敵國に向つて個々に單獨講和を求め、之れを英佛伊諸國に試みて容れられず、則ち三月下旬の大攻勢を見るに至れる次第にして、其の伊太利政府に和を求めて容れられざるや、則ち墺軍をして大攻擊を開始せしめ其攻進捗々しからざるや、則ち獨軍を廻送して之を援助せしめむとす、其の伊太利戰線に於ける活躍は則ち伊太利に對する講和促進の一手段と見るを至當とすべきなり、然れども獨逸自身の疲困の極に甚だしきのみならず、墺洪國の士崩瓦解日を指して待つべきものあり、獨逸は且戰ひ且つ和を促がさんと欲するが如くなれども、我味方にして之を防ぎ之を拒むの間に於て彼自ら潰滅すべき運命を荷ふものたらざるを得ず。

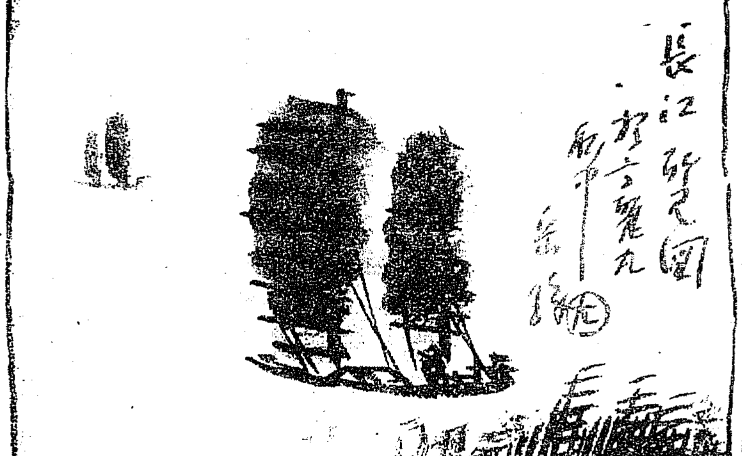
內地の宋學に就て（二）

於經學院 今關天彭氏講演

此の宋學が內地に傳つたのは何時かと申しますると、これは判然とした記錄はないのですが、元の大德至大の比は內地の鎌倉時代の半比に當りまして、當時元から來た僧侶が參り、また內地からも入元した僧侶が尠くないところから、何時しか宋學の傳來を見たのであります。花園天皇の御日記に據れば當時已に四書集註があります。この時代は當地の高麗忠烈王の時代に當り、かの有名なる安(珦)先生が學政を振興した前後であつて、白(頤正)先生が宋學を元から持つて歸つた時代よりは、甚しく早いのであります。かゝる具合に宋學は內地へ傳つたのであるが、傳はつて二十年と經ぬ中に早くも獨淸軒玄惠が出ました。この時の天子は後醍醐天皇であります。後醍醐天皇は痛く宋學を好まれ、この玄惠を宮中に召されて、朱子の新注を進講させられ、文臣には日野資朝、北畠親房の兩卿のやうな學者が出るに至りました。後醍醐天皇は英明の君主でありまして鎌倉幕府を打滅し、建武中興の大業を立てたのでありますが、幾程もなく政權再び武人に移りましたので、[illegible]は親ら傳國の劍璽を奉じて、[illegible]と云ふ所の山中に行宮を設け[illegible]た。武人は光明院を京都に奉じました。かくの如く兩朝分立した事は內地の歷史に於ては未曾有の事です。これには宋學の思想が大に關係して居るのであります。即ち吉野朝廷の元老たる北畠親房卿が、宋學の大家であつたからであります。この卿の學問の根柢は資治通鑑に通鑑綱目であります。通鑑綱目は前にも申した如く朱子の著はしたもので大義名分を鼓吹したのであります。で親房卿の著はした神皇正統記は、主として南北の皇統の何れが正統であるかを議論して大義名分を明かにすることが眼目となつて居ります。內地に於ける大義名分の議論は、前にも起つた事がありますが、兎に角この卿からはつきりとして來たのであります。後世德川光圀が皇道を主張して大義名分を正したのも、畢竟この卿に私淑したのであります。親房卿の時代は丁度當地の麗末に相當します。

南北が統一した間もなく、應仁の大亂を經て群雄諸國に割據し、元龜、天正の混亂時代に豐臣秀吉の手に依つて一時平定し、關ケ原戰爭を一區劃として德川時代に入りました。この間凡そ二百年程は戰爭ばかりでありますから、學問は衰頽に衰頽を重ねて、僅かに僧侶の手によりて文學が傳へられて居つたので、丁度當地の高麗忠烈王以前の狀態に似て居ります。

さて德川時代に入りますると、この時代の初頭に於て藤原惺窩が出て、始めて程朱の學を標榜して學を講じました。これから內地の宋學は始めてこの旗幟を鮮明にしたのであります。惺窩先生は京都に居りましたから、後世京學とも謂つて居ります。門下には林羅山、松永尺五、那波活所、堀杏庵など云ふ諸學士が輩出し、宋學勃興の氣運に向ひました。然し當時の宋學は醇乎たる程朱の學ではなくして、陸王の學をも加味して居つたのであります。惺窩先生門下の中では林羅山が德川家康の秘書官となり、幕府の顧問に備はつたと[illegible]明治維新の時に至りました。また惺窩門人松永尺五の門下に、木下順庵が出て、その又門下からは新井白石、室鳩巢の如き大儒が出ました。この室鳩巢は篤く宋學を信奉し、しかも闇齋學の如き狹陋な風がなく、惺窩以來の宋學の大成者と云ふ位置に在るのであります



田南岳璋畫伯筆

並行線 二十一

瀧閑村

虛僞は虛僞を友達にする。罪を隱す爲には又罪を犯さねばならぬ。一日置いて又靜子より宣太郎に宛てた手紙をお村は受取つた。何でも無い其手紙であるが、受取つた時にお村は顫へた。そして自分の家乍ら壁にも眼がある如く怖れた。

『附箋して伊豆へ送らう、送らなければならない。』

併し、此手紙に先の手紙の事が書いてあつたらば、そして其手紙の事を詰問されたらばどうなるだらう、と思ふ恐怖と、そして

『どうせ若い娘の手紙だもの、讀んだつて、詰まなくなつて可いのだ。』と云ふ嫉妬とがお村をして此手紙を帶の間に隱させた。

お村は夕方それを風呂の竈の中に投じた。紙屑籠から探し出して前の手紙をも火に投じた。

又二日經つて同じ人から同じ人へ宛てた手紙を受取つて、お村は燒いてしまつた。其時にお村は前の二回程顧慮しなかつた。

光一は湯ケ島から出した宣太郎の繪葉書をお村に見せて、

『朝鮮から手紙が來たらこゝへ附箋して送つてやれよ。』

と命じた。お村は

『來たら送りませう』と平氣さうに答へた。其時は銀行の代理店主なる江藤から使が來て、光一に一寸來るやうにと傳へた。

『ぢやあ私は江藤さん所迄行つて來る。』

『行つていらつしやい。』

夫婦は互に異る苦惱を藏し乍ら互に知らぬ顏して家を出で、家を出づる人を送つた。

江藤の家はせゝこましい町に、二軒を一所にした變な家造であるが、一人客があつて、光一は三十分程暗い應接室に待つた。其客が歸つて、光一は江藤の居室に呼ばれた。光一の顏を見るなり、頭から浴せかけた。

『今月は銀行の貯金の成績がねらく惡いさうぢや無いか、困るなア、そんなグズ〳〵して居るやうぢやア迚も駄目だ、君が遣れないと云ふなら、人を代へて遣らせやう。』

『は、實は父の何もあつたものですから、どうも思ふやうに働けませんで……』と云ひかけるのを、押被せて

『それだから猶餘計働かにや、自分だつてつまらないぢや無いか、不幸がありや入費の多いのは判り切つた話だ、それを埋めるには働くより外は無い、しつかり遣つて貰はにや困る』と散々の氣色だ。

『是から身を入れて遣ります。』と云ふ外は無かつた。

『せッせと遣つて貰はう、私は明日の朝、伊豆の親類へ法事に行つて、二三日はかゝる、歸る迄には一つ相當の成績を擧げて置くやうにして貰はう。』

『はい』

『聞けば弟が來てゐるさうだが、高い米を食はして遊ばして置く馬鹿があるものか、少し手傳はしちやどうだ』

光一も流石に是には返事も出來なかつた。

[illegible]吟社六月例會席上（其二）

栗原 華陽

綠樹陰中汲水烹。茶煙颺處起松聲。與來三椀睡魔散。只覺玲瓏心地淸。

學鷗曰 一氣涌出、神來興來、

中西 古竹

槐陰綠處鳥聲圓。石鼎新茶手自煎。回首松風吹颯爽。閑雲一片落淡邊。

學鷗曰 氣韻欲流、如讀者聲之詩、

齋藤 三貢

淡烟颺處綠陰新。一榻披襟主與賓。苦茗喫來心骨爽。淸風四面不生塵。

學鷗曰 綠陰幽興、寫得而淸、

成田 魯石

淸森綠陰老人亭。石鼎煎泉烟亦靑。偶有烏巾鶴衣客。分將朱墨點茶經。

學鷗曰 道色多樣、運筆自在、

大垣 金陵

遠來舊友旅裝輕。先叩柴門呼我名。相見相憐頭髮白。異鄉話盡故鄉情。

學鷗曰 情景如視、意圖語括、

（◇雜誌抄）

◆豆腐の殼は絕好の化粧品である（リヘツ）

豆腐の殼で入浴の度に手の甲や頸筋の所を能く洗ふと兆花に皮膚が綺麗になる併し二十回や三十回では効驗が現はれぬが絕えず用ゐて居ると驚くほどの功果がある

歐洲大戰と世界的知識の切要

增補 西洋通史

文學博士 瀨川秀雄先生著 ◆全三卷

四六判天金極美裝千八百頁口繪三色版卷末詳細索引附、彩色沿革圖十七葉添 即時送本

特價 一時拂 五圓五拾錢（正價七圓） 月賦拂 金六圓（第一回貳圓五拾錢拂込同時（上卷送本）◎第二回壹圓五拾錢（同上中卷送本）◎第三回貳圓（同上下卷送本））

送料內地不要 臺樺滿鮮半減……全部臺樺二十錢滿鮮二十五錢◇各卷臺樺滿鮮八錢

今や過去三千年の事實が一時に吾人の眼前に蘇りつゝあり

世界歷史は人類經驗の總記錄にして、萬人の無爲限に貴重なる暗示と敎訓を含み、潑溂たる人間的興味と刺戟に溢る、世界の大勢、軍事、敎育、商工業等百般の國民情よりし、世界歷史の事實を基礎として始めて的確穩健なる判斷を得べく、既に世界歷史は書籍の領域を脫して各般の業務に對する實際の指導者たり、敎師たり、顧問たり。歷史の裡に、單に過去を讀まず、直ちに現在の事實を讀めば、現に世界を危くしつゝある大戰の歸結如何、來るべき戰後の趨勢如何に對して、何人も案外なる解決の曙光を見出すならん。今や吾人は自ら空前なる世界歷史を作りつゝあり、過去三千年の事實が一時に吾人の眼前に蘇りつゝある際に於てこの大成せられたる歷史の記錄を讀むは最も愉快の事たらずんばあらざるなり。是れ弊社が此の際本書を江湖に推奨する所以なりとす。

田尻博士曰 戰後に來るべき市場の不振「世の不景氣」之は歷史が說明してゐる。若し我が國の對外貿易販路擴張を理由として樂觀說を唱へる者が有ば、それは歷史を知らざる痴漢と謂はねばならぬ（大觀）

內容見本進呈 往復葉書申込次第

東京神田 冨山房 振替一〇五

日本百科大辭典購讀會員募集

◎編修總裁 大隈侯爵・分擔執筆者當代之碩學大家五百卅名（全部十卷）・各卷會費拾貳圓

萬有の智識整然として茲に集り古今東西の事物一として網羅せられざるなく眞に世界的百科辭典と稱し得べきは海に本書を以て嚆矢とす本書一部を備ふれば群小數百の圖書を備ふるより其効果絕大なるべし

會員には第一卷より逐次配本◇支拂方法は一時拂●月賦●若くは

入會規則書並內容見本は御申込次第送呈す

東京市牛込區新小川町二丁目四番地 申込所 日本百科大辭典普及會 電話番町四六七五 振替東京三五〇〇〇番

法人登記公告

長湖院地方金融組合登記事項中目的ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ九、十八トノ變更

九、組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト

右大正七年六月貳拾五日登記

京城地方法院利川出張所

製糖株!! 將來有望

本年ノ收穫不足より生ずる品薄ヘ庶の爲め世界的需要を充す能はず從らに市價の暴騰の割合に會社は利益尠なく各社共二割內外の配當をなすも作業の良好なるは其收益の激增は更に新なんに高價を示すに至るべき手

（目下の時價）（配當）
日本製糖 八十五圓（二割）
明治製糖 百十五圓（一割二分）
臺灣製糖 九十五圓（一割二分）
東洋製糖 百十八圓（三割六分）

京城櫻井町一丁目 有價證券現物賣買 新田耕市商店 電話長一八五七・一八八〇番

一セメント九百樽 右購買ス詳細ハ六月廿七日以後ノ官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

爆藥

Alfred Nobel
NOBEL'S EXPLOSIVES COMPANY LIMITED TRADE MARK
GLASCOW

英國グラスゴーノーブル爆藥會社朝鮮總代理店 三井物產株式會社京城支店專屬販賣店

銃砲火藥卸商 京釜線黃澗驛前（振替口座京城一六五二番）

三共商會

弊店主は多年朝鮮土木工業界の所要火藥類の責任供給を爲し來り現に京釜線改良工事川並に外人金鑛其他幾多の鑛業會社等大口需用供給の恩命を拜し居候

△繭賣買

京城支店 龍山驛前
大田出張所 春日町
大邱出張所 八雲町

△蠶種販賣

夏蠶冷藏種 內地產
秋蠶冷藏種 內地產
秋蠶生種 本社製

東亞蠶絲株式會社 京城支店

墺軍總退却聲明

英國首相ロイドジョージ氏は二十四日下院に於て述べて曰く「墺太利軍は今や總退却を爲したるが滿足に退却し得るや否やは疑問なり」（倫敦電報）

獨軍再攻擊失敗

二十四日發公報は我軍はアンテユール地方にて敵襲を擊退せり獨軍は二十三日夜十一時マルヌ河トランズ間のブリクニイ山上にある伊太利軍陣地に對し再攻擊を加へ激烈なる戰鬪行はれたる後敵は多大の損害を負ひて完全に擊退せられたり伊太利軍は若干の捕虜を得たるがヴーブルボスジユ地帶にては花々しき砲戰行はれたり（巴里電報）

密輸貨物一部押收

警官は二十三日夜愛蘭ダブリン市、スミスフイールド穀物市場に通ずる各道路を閉塞し總計十噸の彈藥を收めたる百廿二の袋を押收せり右は愛蘭北部沿岸に陸揚せられたる武器貨物の一部分にて右貨物中の一部分は各地中樞地に配布されたりと信ぜらる（倫敦電報）

米國大製鋼所設置

カルフオルニヤ州に於ける造船所に供給す可き鋼鐵を製造す可く近く太平洋岸に若干の大製鋼所設置せらる可し目下カリフオルニヤの造船業は其規模の大なる事世界一なり（桑港電報）

過激派の防戰準備

グラヂヱフに於ける過激派の兵力は約八千名にして同軍は鐵道と街道を狹める山腹に塹壕を築き大砲、機關銃を据ゑ防禦準備を整へつゝあり ボグラニチナヤに於ける支那軍は約二千名ありカルイムコフ軍は約三百に過ぎず兩軍の間は汽車不通にて其附近を通過する馬又は馬車は過激派に徴發されつゝあり又過激派は壯年の男子通過する際は强制的に是を軍隊に編入しつゝあり（哈爾賓電報）

赤衛軍オムスク到著

西伯利の反革命鎭定の爲め中央政府より派遣せられたる赤衛軍は既にオムスクに到著せり（浦鹽電報）

支那政府に抗議

日、英、佛領事は西伯利及沿海黑龍江州に對し貨物輸出の爲め國境稅關を解放したる支那政府に對して抗議を提出せり卽ち是れ多數の貨物を獨逸の手に與へ聯合國の對獨穀物封鎖を緩漫ならしむるものなりと云ふにあり（哈爾賓電報）

支那稅務分局設置

支那側は利權回收策として本春來哈爾賓埠頭區に支那稅務局設置の計畫ありしが今回露國當局との交涉纒り愈々七月一日より分局設置の豫定也（長春特電）

明年度豫算 目下編成中

明年度豫算は目下各省にて夫々編成中にて右は來る七月下旬迄に全部大藏省へ送附せらるゝ筈（東京特電）

ハドウリン氏招待午餐會

日露協會の主催なる露國富豪バドウリン氏を主賓とする招待午餐會は二十七日正午銀行俱樂部に開催後藤男目賀田男實業界の巨頭露國大使等百餘名出席歡談を交へ二時散會せり（東京特電）

有松拓殖局長官

有松拓殖局長官は二十八日來長の筈なり（長春特電）

三代議士動靜

澤、秋山、大津の三代議士は二十六日來長の上吉林、哈爾賓を視察せり（長春特電）

伊太利領事一行

哈爾賓伊太利領事グラドラ氏一行四名は二十八日午前十時半安東發列車にて長春に向け出發せり（安東特電）

大田理事南下

大田鮮銀理事は廿七日午後五時半安東著同六時半南下せり因に氏滯在は約二週間なる可しと（安東特電）

國賓御歸京

二十五日日光へ成らせられたるコンノート殿下には金谷ホテルに二日ありて御觀光を終らせられ二十七日午後二時上野著御、霞ケ關離宮に入らせられたり（東京特電）

女學校御參觀

コンノート殿下には二十七日日光より御歸京東洋英和女學校御參觀あり井上侯邸の御茶の會に臨ませられたり（東京特電）

恤兵演劇御覽

コンノート殿下には二十七日午後五時御旅館にケンブリッジ、オックスフオード大學會員を御招待晩餐會を催され午後七時より帝國劇場に恤兵演劇を御覽遊ばされたり（東京特電）

倫敦財況 鮮銀出張員發電

朝鮮銀行倫敦出張員發電二十七日鮮銀本店入電によれば六月上半月倫敦金融市場は一般に平靜にしてコール二分より三分を往來し銀行手形割引率三分五厘商業手形割引率四分乃至四分五厘なり戰報人心を安んじ株式市場概して活況を呈し一流英國證券類氣配强し又英國貿易發展の目的を以て輸出商、業信用狀による支拂を保險する爲め英國貿易銀行は補助保險會社を組織せり公稱資本金十萬磅拂込濟資本金二萬磅なり印度省證券相場變動なくパリー向二七、一六、ストックホルム向一三、七二、アムステルダム向九、三四也

古阜水利現況 組合役員の談

古阜水利組合の狀況に就て同組合役員は語つて曰く組合工事は目下全部著手し亦組合の役員側及び議員側も頗る圓滿にして一般組合員も平穩なり工事は目下の進行の狀況にて豫定の通り十一月中に竣工すべし事業資金は物價暴騰の影響により相當增額を要し過般評議會にて追加起債を決し目下其筋へ認可申請中に屬す

▲工事狀況 貯水池（面積三百餘町步）築造排水路（延長三里半）の掘鑿は昨年六月何れも請負にて起工し排水路は大倉組の手にて本年四月竣工せり貯水池は本年六月より請負を中止し組合直營にて施工しつゝあり其の總體の五分以上迄に進工し本年秋期より來年の灌漑水を滿溢することを得用水路幹線（延長六里餘）及び同支線（延長十二里餘）の工事及び古阜川堰閘門、鹽濱閘門、用水汲上げ支線工事は鹿島組外二名の請負にて目下五分通り進工中なり

▲灌漑狀況 耕作圃中の工事の灌漑に及ぼす狀況は本年は降雨少なきにより工事著手前なれば旱魃にて困難する組合區域の北端方面は用水汲上支線の振舊を移しり後に相當の灌水ありこれを利用せしめ植付を了りたり又揚水路に沿へる方面の土地も同水路の溜水にて植付を爲すを得たる爲め關係地方の農業者は何れも喜びつゝあり貯水田の貯水は五月下旬に貯水田の假〆切堤を切開きて下流の灌漑に供し退水後六月七八日頃より掃秧に著手し同月十七八日に於て全部七百町步の掃秧を了れり貯水退流後の畓は適當に水量を殘留し肥料分沈澱のため昨年の如きは稻作の生育佳良收穫多き實況にて今後鹽濱閘門の完成して時々の出水を調節せば豫定の計畫通り効果を收め得べく又區域內の灌漑水量は不足の虞ありとて別に水源を求むるの議ありしも昨今の旱天に於ける水量狀態よりすれば豫定計畫通の工事完成後は水量は相當保有すべしと工事關係者及び地主等は工事完成後の効果を期待しつゝあり

鮮銀上海業績

鮮銀上海支店の最近營業成績を聞くに去る四月十日開店當日は預金六十二萬一千四十七兩貸出四萬圓他に預金九千六百七十六兩二四なりしが其後著しく發達し六月十五日の帳尻は預金百十三萬三千兩と貸出九十二萬四千兩を四萬六千兩買爲替三十三萬七千兩なりと

鮮銀の興債扱

政府の保證あり金融上國債同樣の取扱ひを受け且つその利廻り六分五厘强に當る興業債券五千萬圓は既報の如く七月一日より同六日まで朝鮮銀行本支店にて取扱ふべく當局にては一般の應募を望みつゝあるが額面は五十圓一百圓五百圓一千圓五千圓一萬圓の六種となり小額應募者のために便宜を講じあり尙ほ期日前と雖も便宜取扱ふ由

鮮語獎勵訓令

全道各學校教員朝鮮語學習獎勵に關する訓令は二十八日附總督府官報を以て公布さる可し

金庫事務檢査

過般來執行中の鮮銀內本金庫檢査は本月中を以て全部の終了を告ぐる豫定にて終了後來京中の日銀大塚檢査役は書記一名と南鮮地方に又他の二名の書記は西鮮北鮮の各支金庫檢査を行ひ來月中旬頃日本銀行に歸任の豫定なりと

內地行滯貨 一掃期遼遠なり

滿鮮京城管理局調查に係る六月二十日午後六時現在の內地行滯貨は本州線行き二萬四千五百餘噸九州線行き一千九百三十噸にして出貨減退と共に滯貨量は大に減少したれども然も二月申込みのもの約五千噸を算し五ケ月越しの停滯を見居れるは內地線と關釜連絡船の輸送力不足より來れるものなれど注目に値せん內譯左の如し

▲內地行滯貨內譯

	本州線[illegible]以東行	下關及び九州線行
二月中申込のもの	四、七四七噸	〇噸
三月中同	二、〇一九	〇
四月中同	二、三八二	〇
五月中同	六、三三一	〇
六月中同	八、四八五	六五八
計	二三、九六四	六五八
釜山棧橋滯貨	三三九	七三八
局線內輸送中のもの	二六六	五三四
合計	二四、五六九	一、九三〇

尙ほ本州行き貨物の輸送力は米原以東鮮滿發一日二百噸米原以西鮮滿發二百八十噸釜山地發七十七噸合計六百噸に付その一掃は尙ほ前途遼遠と云ふべく九州行きは鮮滿發百六十噸釜山地發四十噸なりと

中旬鮮鐵成績

六月中旬に於ける鮮鐵の營業成績は客車收入十七萬四千百九十六圓貨車收入二十萬七千二百十一圓合計三十八萬一千四百零七圓にして前年に比し九萬九千圓の增加を來し一日一哩の收入は三十四圓六十一錢に達し居れり

小額券引上額

朝鮮銀行に於ける鮮內流通小額券引上總額は二十六日迄に二十五萬二千圓にして僞造額は四十二萬四十圓也と

宮田中將動靜

東京砲兵工廠提理宮田中將は二十七日朝平壤より鎭南浦に向へり

大田理事入京

大田鮮銀理事は行務上の要件を帶び二十八日午前八時南大門驛著列車にて入京當分滯在すべし

ゲラン氏出發

新任橫濱駐在佛領事ゲラン氏（元京城駐在）は既に新任地に出發の筈なりしも都合上延期し今二十七日朝一行四名と共に內地に向け出發せり

廣瀨經理部長出張

軍經理部長廣瀨正德氏は會計經理檢査のため根岸一等主計谷二等主計を隨へ七月一日出發平壤及び義州地方へ出張七月十日歸任の豫定なりと

笠原氏入院

三井物產の笠原寛美氏は背部に腫物を生じ二十六日總督府醫院にて切開爲來入院中なるが昨年石塚東拓總裁の罹病せしものと略同質のものなりと

人事消息

▲佐藤潤象氏（朝鮮鐵道重役） 廿七日夜入京朝鮮ホテルへ
▲櫻井六郎氏（南滿製鐵營業課長） 同上天眞樓
▲中野康也氏（南滿製鐵課長） 同上
▲淨永彥四郎氏（營林廠庶務課長） 同上浦尾旅館へ
▲石谷甚平氏（中津水[illegible]取締役） 廿七日夜退京
▲眞木伸次郎氏（京都大津市會重役） 同上
▲林繁助氏（群山不二商業取締） 廿六日退京

梧庭先生招飮席上賦呈　大垣　金陵

權域勸勞誰比肩。廿年啓沃導群賢。風流況有公餘興。詩盡紅燈綠酒前。

和韻　國分　梧庭

遠樹如烟雨後天。佳辰今夕會群賢。學鷗曾否耽詩興。蓋世文章大[illegible]前。

次韻　成田　魯石

雨後仍留雲半肩。移南山麓任遺賢。主人不語當年事。倚醉紅燈綠酒前。

次韻　松田　學鷗

笑吾吟瘦聳山肩。昭和深慙佐俊賢。夕日將傾詩未就。陶然先醉[illegible]前。

安危懸得在雙肩。眞是藤公絕代賢。韻到搖紅挑綠句。滄桑無限[illegible]前。

京城府と市場問題

京城府に於ける現在個人の經營に係る各種市場を統一することは京城府の事業として既に先年より考究され居りしが更に最近京城商業會議所の研究を經て公設中央市場に對する一つの成案を見るに至りたる

▲成案を見る が京城府に於ても其後漸々之れが研究の步を進め最近に至り之れが實行の衝に當らしむべく夫れ〴〵委員を設け監督官廳たる總督府京畿道廳よりも委員を參加せしむるに至り既に兩三回の委員會を本府に開催し極力之れが實行に關し調査進行中なるが府當局に於ても本問題を以て社會政策上重大視して輕々に所斷すべきにあらずと爲し居れるもの如く卽ち其の敷地の如きに對しても東拓橫李王家所有地の如きは勿論

▲府の中樞に 位置し交通機關亦殆んど完備せざるなき個所なれば市場敷地として申分なきは言ふ迄もなくされど一概に廣大なる面積の土地に對し極めて廉價なる貸下げを要望する如きは些か躊躇せざるを得ず若し該地域の貸下を必要とせば矢張り相當の借地料を支拂はざるべからず又該地區は京城都市の中樞に位置せるよりバラック式の見苦しき建物を以て

▲市街の美觀 を傷くるが如き事も考究すべき問題なりと云はざるべからず而かも宏壯なる建築其他を以てすることも經費の點より若しくは府財政の點より見て實行困難の感あり、斯る點より市場敷地の候補地として委員會の著目しつゝあるは京城日報裏の國有地たるべしと觀測せらる而して現在府內市場の多きは其存續期間未だ盡きず今後十年若しくは數十年の長きに亙り從つて完全に府內の各

▲市場を統一 し得る時期も蓋し近きに在らざるべき事等を考慮すれば初めより廣大なる建物を建設する爲め府債を起すが如きは極めて不生產的に了るなきやを考へざるべからず其他御小賣市場の併離奈何等に關しても愼重考究中にして府當局は市場問題を決して等閑に附し居らずと語れり

大阪より

▲電氣製造の前途 本[illegible]分派外より輸入を仰ぎ居たる所時局發展に伴ひ輸入漸次困難となり隨つて價格暴騰し其結果、電氣用[illegible]要缺ぐべからざるものなるが何れも英米諸國の輸出禁止に遭遇した[illegible]る爲めこれが輸入を確保するの途[illegible]べきか

▲勸債取締と新債券 第[illegible]六十九回勸業債券[illegible]八百萬圓（額[illegible]）[illegible]するもの、如し從來と雖も不正なる月賦販賣業者に月賦購入契約[illegible]に對し注意を喚起せしめざるのみ[illegible]る期間他人の金を無償にて運用する形となり資本なくして事業を營[illegible]とて實行を悲觀せず之を從來の例に徴せんと月賦販賣債券の數は總賣出額の三分の一に過ぎなんを以て亦一般債券所有者の趣味を[illegible]するものを多くせしが今回は二回より三回まで同數を割し四回目より低減し[illegible]れるより之れに對する一般需要者[illegible]

[illegible]場は昨年[illegible]英政府は輸出禁止に[illegible]止後は[illegible]

百日紅

ローズヴエルト君は相變らず大分活動して居るらしい▲此頃は活動寫眞にも自分の行動を映したフヰルム興行を承諾したと云ふ▲舞臺はオイスターベーの私邸で數名の訪客を相手に滔々と戰備擁護論をやつて居る處だが到る處で大受けだとの評▲定めて近い內にはお互に寫眞でお目にかゝる事が出來やう▲愛國と云ふ事にかけては殆ど狂的と迄評せらるゝ程熱心な愛國論者高木兼寛男の評を或夜地方の社會事業に熱心な某女史が訪問した▲恰度十時頃であつたが兩方共熱心家の寄り合とて熱心と熱心がカチ合つて火花が散る有樣▲十一時が過ぎ十二時が鳴つても熱心の火の手は衰へさうにもない▲やつと話が片付いて女史が暇乞をした時分は最う電車も俥もない眞夜中と來て居たので男爵も唯一人で女を歸す譯にも行かず▲さりとて宅に宿めると云ふ事も出來ず思案の末男爵閣下自らスタコラとお先供に立つた▲までは先づ好つたが女史は偶々の上京して自分の宿が判らず深夜の巷を彼方此方と甚しくお伴の男爵を惱ました相な▲流石の愛國家も玆に至つてはホト〳〵閉口して仕舞つたとは近來の喜劇

社告

來る七月一日より從來の一頁十段を新鑄五號活字十五字詰十一段に改め申候

大正七年六月　京城日報社

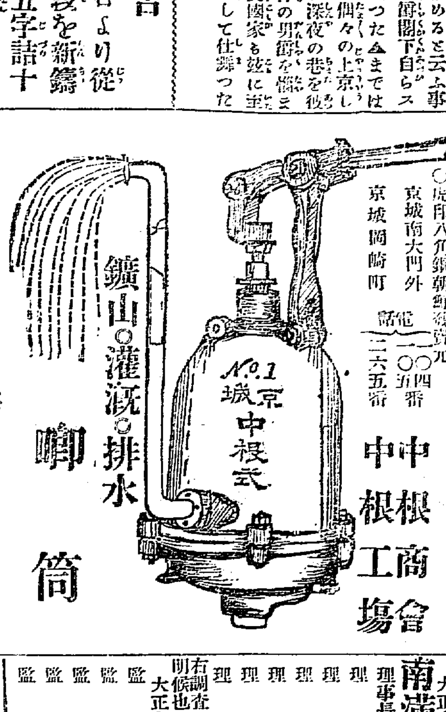
本日朝鮮總督府公文附錄添附

中學世界 七月號

定價金廿三錢　東京本町　博文館　振替東京二番

日本の新山水　▲山林河海……文學博士三宅雪嶺　朝鮮の金剛山（丸山晩霞）　白然鄕（赤坂將七）　八丈小笠原（近藤[illegible]）　夏の樺太（石橋生）　異國的風光（田中）　琉球の地方色（石川貴造）

▼坊やと俺と女詩人
▲加藤高明子の少年時代
紙上漫畫展覽會
神經衰弱療法
受驗學（下）……國府田[illegible]
小說 若き勇者の悲み……江口渙
壹萬人中の第一番



鑛山○灌漑○排水 喞筒

東京銅鐵株式會社 東京製鋼株式會社 中根式鑛內用押揚喞筒製作發賣元 ○虎印八角鋼朝鮮發賣元

朝鮮總代理店　京城南大門外　中根商會　電話一〇〇四番

京城岡崎町　中根工場　電話二六五番

內科 小兒科 ヂアテルミー科 入院隨意

京城府明治町二丁目（本町江戶川樓ヨリ入ル）電話三七八番

中島醫院　院主 中島貞信

確實有利の新事業

●出資金五拾圓 ●元利決算毎三ケ月 ●配當年四割內外實行

內容は此新聞名記入御照會を乞ふ

帝國商事合資會社

東京麴町區有樂町一ノ四・電本三四九〇・二七二一・振替東京四一八六五

七月一日より朝鮮線（淸津會寧間を除く）列車運轉時刻を改正いたし候

改正時刻は各停車場に揭示いたしをき候

同日より從來の溫井里金剛山ホテルの外に左記ホテルを開業いたし候に付精々御利用被成下度候

長安寺ホテル　內金剛長安寺に設在、設備淸楚

南滿洲鐵道株式會社

帽子原料品 [illegible] 指商店

集金人一名　給仕一名

府內ニ確實ナル保證人二名ヲ要ス　年齡十五六歲小學校卒業程度

右希望者ハ履歷書持參來談ノコト

京城黃金町二丁目　明治生命保險會社出張所

第拾七回決算報告

自大正六年四月一日 至大正七年三月卅一日

貸借對照表

資本金貳億圓 內 現在株金壹億八千萬圓 未濟株金貳千萬圓

資產

拂込未濟株金	三八、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
政府出資財金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
興業費	一七六、五三九、四六七・九七[illegible]
貯藏品	[illegible]
有價證券	[illegible]
預ケ金	[illegible]
他店貸借	[illegible]
貸金	[illegible]
未收金	[illegible]
假拂金	[illegible]
工務勘定	[illegible]
工場勘定	[illegible]
切手印紙	[illegible]
金銀在高	[illegible]
合計	三七四、[illegible]

負債

株金	一八〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	一二、七七七、七一二・五三[illegible]
特別積立金	一八、四〇〇、〇〇〇・〇〇〇
社債	一二七、三五六、〇〇〇・〇〇〇
保證金	[illegible]
社員貯金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
社員共濟基金	三、五七六、〇三三・一三〇
未拂金	六、八一二、九七二・六九[illegible]
假受金	三、八二一、九二三・六四[illegible]
前年度繰越金	四、七五九、七〇〇・五一五
本年度利益金	一四、九二五、六四二・九一八
合計	[illegible]

利益配當計算書

一 金千四百九十九萬[illegible] 本年度利益
一 金四百七拾五萬九千七百圓五拾壹錢五厘 前年度繰越金
計 金千九百六拾八萬[illegible]
內
一 金七拾四萬六千貳百八拾貳圓拾五錢 法定積立金
一 金貳百五拾八萬圓 政府配當金
一 金七拾九萬[illegible] 政府以外株主配當金（年六分ノ割）
一 金貳百參拾萬圓 同上第二配當金（年貳分ノ割）
一 金參五拾萬圓 特別積立金
一 金六萬圓 役員賞與金
一 金七百九拾萬五千[illegible] 退職慰勞金
一 錢[illegible] 翌年度繰越金

右之通候也

大正七年五月

南滿洲鐵道株式會社

理事長 工學博士 國澤新兵衛
理事 川上俊彦
理事 改野耕三
理事 樺山資英
理事 龍居頼三
理事 川村鉚次郎
理事 久保要藏

右調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ證明候也

大正七年六月

監事 河上謹一
監事 馬越恭平
監事 大橋新太郎
監事 小山健三
監事 佐々木勇之助

寫眞 出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　最も熟練せる技術を以て低廉に[illegible]

京城日報社 寫眞製版部

東京大相撲 ＝初日＝
◇團體見物多く八分の大入

鳳千葉ヶ崎一行の東京大相撲は好景氣の内に二十七日早朝より開場したるが京城名物の番、サッポロビール、大潮後援會その他の團體見物等ありて大成功の裡に別項の如く午後六時打ち出したり

勝	負
関ノ竜	藤ノ谷
越ノ嶽	生ノ越
二ノ鳥	土田川
瀬戸川	千葉崎
泉ヶ浮	千葉花
松ヶ島	與州香
甲ヶ朝	黒山
石ノ濵	淺の汐
沛鍬右	小田ノ山
扇紋山	小田ノ山
伊達錦龍	大淀
九ノ紋川	眞砂岩

△中入後

鶴ノ海（叩き込み）若葉山
能代潟（よりきり）小牛田山
錦島（下手投げ）大岬
三杉磯（よりきり）白岩
大潮（吊り出し）藤ノ川
琴ヶ浦（よりきり）千葉崎
鳳（よりきり）大戸平

▲本社番外お好み
大潮（よりきり）琴ヶ浦

▲同決勝五人拔き
鶴の海（小牛田山、淺ノ山、眞砂岩、大淀、能代潟）

右の勝負の內▲鶴の海に若葉山は互ひに突張りを連發しつゝ烈しく突き合ふ內鶴突き進み若の堪ふるところを切返し氣味に叩き込んで勝▲小牛田山に能代潟は立ちに上るや得意の左差しとなり猛烈に寄り立つるを能代殘して廻り込み寄り倒して勝は元氣なり▲錦島に大岬は大岬立上りに錦の右を突きかけ烈しく突張り突き進むを錦撥いて左を差し岬の寄りバナを土俵際に下手投げを打てば美事に極つて錦の勝▲白岩に三杉磯は三杉より突きかけ白待つたと見にしがそのまゝ立ち上り三杉無雜作に寄り切つて勝▲大潮に藤の川は鳥渡突き合つて相四ツ大汐吊りに行きしが藤殘して寄りたつるを汐再び强引に吊り進み行司溜に吊り出して勝▲千葉ヶ崎に琴ヶ浦は兩力士共入念に仕切つて立ち上るや琴右を差して猛然として寄り進み千葉が勝手惡しと右を差さんとするを差させず寄り立つるを千葉土俵を廻つて殘しつゝ正面溜りにウンと踏ふるところを琴コゝぞと烈しく寄り立て體を突きつけ千葉が半身になつて堪ふるを琴體を突きつけ寄り切つての勝は當日の番狂はせにして滿場の喝采を博したり▲鳳に大戸平は大戸平より突きかけて相四ツとなり大戸鋭く寄りを試み鳳再三危ふかりしもよく殘して反對に寄切つて勝にて六時打ち出したり

決勝五人拔優勝力士鶴の海

相撲雜觀
五人拔いた鶴の海
總立となつて大潮フレー 醉拂だいと騒づく ―場內殺氣漲る―

取組は午後零時半頃より始まりたり初日の事とて始めの人氣は沸騰せざりしも番數を重ぬるに從つて場內彌次の氣分漲つて番外好みの小牛田山甲州の初切りには本町の製藥博士本城屋主人正面土間に於て盛んに歡次り出し之に相和して場內四方から

◇グデ連が咆哮 する本社好み相撲大潮に琴ヶ浦は双方共に人氣力士大潮後援柳川人會は西棧敷に陣取つて『大潮フレー』と書いたる小旗數十本を振り後援會長の小田榮氏の音頭で盛んに聲援し大潮寄切つて見事に勝てば滿場熱狂其極に達し

◇大潮後援會員 は總立となつて狂喜したるは見物なりき同じく本社好み五人拔きは東小牛田山、能代潟、大淀、眞砂岩、淺ノ山、西大岬、鶴の海、小田の山、淺の山、石ヶ濱の新進を揃り拔いたる好相撲大岬、能代潟、眞砂岩たる鶴の海等目ざましく奮戰したるも遂ひに

◇西方の鶴の海 小牛田山、淺の山、眞砂岩、大淀、能代潟の五人を倒して勝名乘を擧ぐ午後四時中入となり鶴の海、若葉山をはたき込み能代潟、小牛田山を寄り切り錦島、大岬を下手投げ三杉磯、白岩を寄切り東西共に二勝二敗となりて大潮、藤の川の取組となるや大潮後援會員は再び總立ちとなり大潮に聲援すれば製藥博士及び

◇西土間の醉漢 大聲にて『大潮も藥もあるけれ』引き潮だにとか柳川人會を睨んで『强い奴に加勢する奴があるかい篦棒めい』『大潮を喰へ』と騒ずるのを大潮吊出して勝てば柳川人會員面あてに高く連呼する場內は又喧々

◇喧騷は其極に 達したり千葉琴ヶ浦は千葉氣合拔けの體にて寄切られ鳳大戸平は鳳の勝にて午後六時打出したり

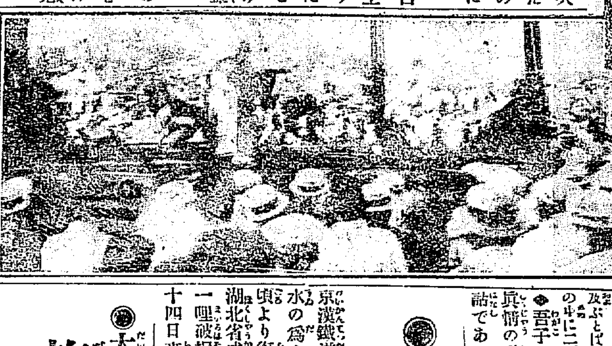
◇毒氣の多い彌次振り

初日なりしにも拘らず珍らしく場內の活氣は横溢し前記の如く彌次の氣勢大いに騰りしも其の彌次たるや愛嬌もこそもなき乖氣辛辣のものにて本城屋主人の如き鳳に後援せんとしたるも鳳が

◇止み難き事情 より稽古相撲を取らざるに向つ腹を立て土俵の眞中に大胡坐をかいて愚圖り警官が馳け出してやつとなだめたる程にて其他の者も之に雷同して鳳の横綱土俵入りの際憎々しげなる辭を吐きかけたるには滿場顰蹙したり

▲鳳後援會 鳳贔負の好角家を以て今回鳳後援會を組織することゝなり來る二十九日の三日目に於いて鳳のために總見を爲す由なり

▲大戸平の講演 大戸平は最近東京に於いて一部人士の間に歡迎され居れる自彊術（一種の柔軟體操）の普及宣傳に努めつゝあるが今二十八日龍山中學校に於いて自彊術に關する講演を爲すべしといふ



◇橫綱鳳の土俵入と當日の見物

◎技藝學校の移轉披露
＝と父兄會＝
先を爭ふて來觀帳に姓名

◆京城女子技藝學校では二十七日午前十一時から官民の主なるもの五十餘名を招待して移轉披露をした來賓の中には松永道長官、金谷府尹、弓削學務課長、田中視學官、組合議員の顔も見えたが

◆是より先學校側では休憩室に生徒の成績品を陳列して來賓の縱覽に供した成績品は針搖しの雜巾から紐飾背紋衣類ミシン物刺繡袋物等物利用の手工品など目も醒めるばかり

◆[illegible]始めたから卒年生の成績品にくらべると大いに見劣りがするミシンなぞでは十時間位の勉強です』とは校長さんのお話した如何うしてドレもコレも流石に技藝學校だなと思はせるやうなもの許り特に物品利用などは人目を惹いた

◆軈て一同別室に導かれ茶菓の饗應を受けたがこの間井上校長から移轉の挨拶があり之に對して成田高女校長は來賓を代表して祝辭を述べ田中組合議員は市民の資格で私立學校經營の困難なことを述べて祝辭に代へ歡談笑語の裡互ひに學校の前途を祝福して二時頃解散した。

◆引續いて父兄會を催したが永登浦[illegible]りから遙々出席したお父さんお母さんもあるなど之れ又都々の盛況三百父兄が學校に遠慮するを何も言ふにや及ぶとばかり先を爭ふて來觀帳に署名し忽ちの中に三百餘名集まつた

◇吾子の可愛いさから學校を思ふ眞情の發露で涙が溢れる程嬉しい話である

◎京漢線全通
粵漢線不通

京漢鐵道は直隸省の邯鄲縣附近出水の爲め破損し居たる處二十六日頃より復舊全通せり又粵漢鐵道も湖北省咸寧縣下一帶出水し線路約一哩破損したる爲め武昌岳州間二十四日來不通と爲りたり（漢口電報）

◎大雨中に旋風起る
長春被害甚し

二十六日午後六時頃長春方面にては大雨中に旋風起り東方より西南に向ひ通過せしが是が爲め滿鐵貨物倉庫を初め其通過路にありし市中家屋及び立木の倒壞破損夥しく附屬地にて支那人一名死せり因に損害多額の見込也（長春特電）

◎俄に暑くなつた
室內で八十四度 昨年より暑い

うち續いた梅雨空が霽れて俄かに暑くなつた殊に二十七日はお天道樣が怒り出したかと思ふ程遠慮會釋もなくカツと照付けたので暑いことく宛ら鎔けるかと疑はれ風通しの好い室內にジツとして居ても汗が滲み出す始末人々は頻りに『暑い〱』を連發してゐたが京城測候所の觀測に依ると同日正午の最高温度は室內で攝氏の二十九度（華氏八十四度）を示して居たと云ふから室外では確かに華氏九十度以上には騰つた事と思はれるこれを昨年同日の二十七度二に比べると一度八ばかり高かつた譯だがこの位はまだ〱暑さの小手調べ、これから日に増し暑くなることであらう

◎金剛山行自動車運轉延期

滿鐵京城管理局に於ては七月一日より金剛山探勝客のため自動車の運轉開始に延[illegible]及[illegible]復舊引繼事務の整理をなす筈なりしが

◇芽出度い動物園
駱駝と孔雀のお産騷の裏話

先日獅子が仔を生んで以來昌慶苑動物園にはお芽出度がつゞく獅子のお産後間もなく豺が四匹ばかり仔を生んだが一兩日前には孔雀が二羽の雛を孵し二十七日には駱駝が又産の紐―ぢやないお産をすると云ふ始末お芽出度と云へば鶴も亦巣籠中とある先日は折角の巣籠最中卵を落して割つたと云ふ例もあるので今度は係の人も大いに注意し卵が落ちぬやうに工夫して遣つたと云ふから軈て可愛い雛を見ることが出來るであらう

八角亭閑話

▲シドニー駐在の米國總領事が本國政府へ送つた報告中に曰く、ニューサウス、ウエールス州の大學及高等學校に於て日本語は今や獨佛語と同格で敎へられて居るが、高等學校の學生で日本語を專修する者は同校で四年、大學で三年之を學ぶ規定である。猶ほ他に實業家其他でシドニーの大學で日本語の敎授を受けて居る者が七十五名ある日濠の貿易が近來急に增進した爲め、日本語の必要が切實に感ぜらるゝやうになつたのであると▲米國セントルイス市のワシントン大學敎授アボット氏は先般日本滿洲及び支那を巡視し『日本の擴大』と題する一著を著はした。氏の對露意見として米國新聞紙の傳ふる所に曰く『露國の社會狀態は十三世紀時代のそれである。今日の露國及び西伯利亞は全く無政府といふべきもので、社會の組織は破れてしまつて居る。露國人の性格には好き點も多くあるが、悲しい哉彼等は英米獨逸人及び日本人の有する組織力がない。▲米國のメソデスト敎會では今年中に一億六千萬圓を傳道資金として募集するの計畫を立て運動中であるが、既に二百萬圓は集つたといふ。此中八千萬圓は外國傳道費に充てるといふ。

◇平康 長安寺間の中末輝里長安寺間[illegible]溫井里間の道路修繕未だ完成せざるに付當分の內自動車は平康末輝里間の外運轉せず依つて探勝客は末輝里長安寺間徒步[illegible]及往復[illegible]

◇停止 すべしと尤も長安寺ホテルは[illegible]七月一日より開業し尙末輝里には內地人經營の旅館あるを以て宿泊上には何等不便なく因に道路修理竣成期は七月十日頃[illegible]

◎數十箇所の水道管破裂

廿六日夜の强震にて甲府市內にては數十箇所の水道管破裂し水道は出るより當局は斷水して修理に努め居れり（東京特電）

◎大阪公設市場
永久的施設とすべし

大阪の公設市場は好成績に就き愈是れを永久的とし四箇所の外更に三箇所を設置すと（大阪特電）

◎茅輪行事 龍山加藤神社にては三十日午後七時より大祓式にて茅輪行事を催す由なるが當日參詣者には一千名限り大祓御札無料にて分與すべしと

蚤退治 ―一番好い方法―
（F）

蚤退治をするには何うしたらよいかと云ふに、夜具や着物類はきく日光へよくさらして、日光消毒をすることが一番大切である。そして勢力もなかく多い、夏日光のもつともつよく光るときに

◇砂地 か或はトタン板のやうな物の上へ夜具とか寢衣のるゐをひろげておくこと、蚤は强い光線とそして烈しい熱のために、つひには蒸し殺されて仕舞ふものだ。此の日光消毒は、ひとり蚤退治に適當するばかりでなく、衛生上から見ても最も必要なことである。

◇子供 類が蚤にさゝれたときは、カンフルチンキとか、又はアンモニア水をぬるにかぎる。餘り烈しく藥が刺戟するやうなら、少し水を分つてもよい。そしてさゝれた箇所へぬつてやるがよい。蚤よけとしては、先づ第一に清潔を主とすべきだが、夜分床の周圍に除蟲菊の粉末になつたのをまいて置いても、蚤はよけることが出來る。子供の

◇寢衣 などへパラ〱と此の除蟲菊の粉をふつて置くのも妙だ、此の粉末は皮膚へ附著しても外に害はないから、此點は安心して好い。

……は歐洲大戰の影響を受け累年發達を見たるが之れが製作材料たる鐵諸機器並に其他の附屬材料は大部而して前記諸材料中最も不足を告げ居れるは薄鐵、硅鐵、礦の二種なるが薄鐵は電氣器具製作に必[illegible]進し之れを完成するにあらざれば本邦に於ける電氣器具製造業は永久獨立自活の域に達する能はざる

ことゝなりたり月曉販賣取締勵行に伴ひ實行如何を案ずるものあれども取締の勵行は利害得失相半ばり閉店遁逃するものありしが今回は全部捕込を了せざるものには附有樣を移さず又番號の豫知を禁せ當局者に於ても何等かの便法を設けられんことを希望す然れども銀行として此取締が勵行せらるれば[illegible]むること無かるべし之一に世間の景氣如何に由るも從來一旦仲買人の手を經て賣行きしものが今回はなるが如し然して所者孰れが步合多きか篩かに判知し難し尙玆に注意すべきは從來大鐵の初回の口數

▲銑鐵益昂騰 近時鐵材相場の昂騰甚だ顯著なる一方銑鐵相[illegible]十圓讓賜第一號銑は四百五十圓見當（大阪定局）は四百四十圓內外に[illegible]く釜石一號四百四十圓內外釜石二號鐵三百三十四十圓見當滿洲輪西第一號四百四十圓內外を唱へたるが猶强調を持續すべく觀測せられつゝ

▲流行燈衿▼
▲特價金拾圓也
▲送料內地十二錢外地三十錢
◎純毛にして新流行縞物四種
世間ありふれたる內地製品にあらず
純英國製にして「シワノヨラヌ」
右非常の好評發賣僅少と相成候間
至急御注文願上候
京城太平通り一丁目
京城日報社代理部

（大日本製）
黃金町長橋町入口
電話二九一六番
田村質店
商品御保管便利取扱

本日より特別興行
舊劇 魔風來太郎
忍術仇討
伊國グロリヤフイルム會社作
泰西活劇 ソウウコン
最近の出來事
新派悲劇 赤阪情話
午后七時開演
黃金館

京日案內

電話讓物有 二五一九番へ

◎看護婦至急入用
龍山元町二丁目 龍野病院
電話二〇四番 256

◎給仕募集
急持參されたし 希望の者は履歷書
株式會社 漢湖農工銀行 259

店員手代 三名入用
但し四十歲以上
京城本町二丁目
同 青葉町一ノ一〇二 大橋商店 263

恩給年金 長期低利立替 短期は保險を要せず
但し恩給に對しては共際四年分迄
京城日之出町十一番地
吉田屋 111

朝鮮語科 新學期三ヶ月卒業
英語科 各級補欠募集
南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會

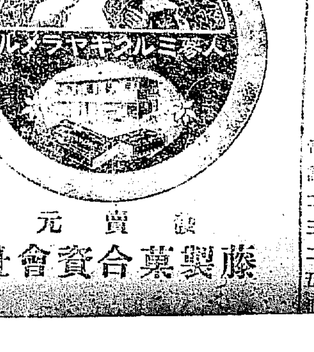
募集 三十歲迄 二十歲迄 事務員 店員 二名 三名
十二歲より十四五歲
[illegible]丁字屋洋服店

外勤社員募集
京城永樂町二丁目
愛國生命保險會社出張所
面談履歷書持參 260

◎はねつき（うちみ）くじき
一切の治療御依頼に應ず
明治町 柔術道場 131

▲アスファルトフエルト 各種
一便利瓦（和製マルソイド）（アバロイド）
京城永樂町二丁目六〇
德田商會
電話二三二五

中元御贈答品

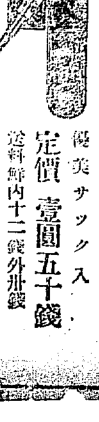


發賣元
藤製藥合資會社

六月[illegible]日より毎日（自午前九時至午後六時）
賣買入札開始
有精々勉强御取扱申候間多少に拘はらず御出荷相成度廣告候也
釜山南濱鮮絲商會
龍山出張所

專賣特許木材防腐防蟲劑
◎クームヒン
塵芥箱下水板家畜小屋等に塗布する時は木質の保存のみならず蠅蚊及其他の昆蟲を撲滅し其來襲を絕無ならしめ消毒殺菌の効甚だ顯著なり
市內到る所の藥店にあり
定價 罐入六十錢 罐入一圓二十八錢 送料荷造費實費申受
京城旭町一丁目電話一〇七八 振替三二九六
龍山元町一丁目電話四二四番
山田商店

▼パラチブス＝家庭必備＝檢溫器
模範的三分間昇降
PINE 檢溫器定價



優美サック入
定價 壹圓五十錢
送料鮮內十二錢外卅錢
農商務省標準器に準じたる特製品
パイン檢溫器
發賣元
京城大平通
京城日報社代理部
電話長六〇〇九番
振替京城三〇〇

洗濯石鹸角形專門
角形石鹸元祖
浦本石鹸工場
京城南米倉町一八四番地
電話二二九四番
振替京城三一三九番

易斷
高島易斷本部
受付午前八時より十一時まで午後三時より十時まで
出張所 京城旭町一丁目日ノ出湯前
高島香明先生出張
神易協會
電話一五七二

外科 皮膚科
內科 花柳病
小兒科 診察夜九時迄
入院隨意
島崎病院
京城旭町一丁目（本町通り左に入る）
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一
電話二七三六番

妻の心（二十二）

小林蹴月作　武内桂舟畫

（五）の一

「櫻井君、自動車なんかで、何事か起つた譯ですか。」

酒氣に充ちて居る町川は、眼下に見るやうな態度で、平素よりは稍横柄に云つたのである。それには無論森ケ崎の望月館で、反對に櫻井から凹まされた復讐的の意味もあつたのであらうが……。

『ねツ、實はその禮子さんの御病氣がわるいと云ふお話を聞きましたんで、今日の午前一寸お見舞がてらに伺つた譯です。所が、禮子さんが、病苦を押しても、是非貴郎のお越し先を突き止めて、迎ひに行きたいと云はれますんでね……僕は强てそれをお止め申した結果、實は自動車を驅つて、此の程お目に蒐つた例の森ケ……』と、云ひかけて、櫻井は、にたりと厭な笑ひを浮べたが、

『……彼處まで一走りお迎ひに出かけて見ると、遺憾ながら、貴郎はもう御歸りの後なんでせう。大に失望して、その歸途にも二三個所心當りをお訊ねして見たんですが、什うしても分りかねましたんで、詮方なしに只今漸く取て返したやうな次第なんです。』

と、出來る丈自分の方に都合好く云つて、恩に被せるでもないが被せぬでもないらしい眼遣ひ。恩かならぬ町川は、此の語調に依て、腹には、ちやんともう櫻井の奴め、森ケ崎の一件を一から十まで禮子に打明けをつたに違ひないと察した。併し、表面は何處までも落著き拂つて、

『はア、然う云ふ何でしたか。そりや什うも君にまで非常な御迷惑をお掛けしましたね。まア、奧へ行つて休息して下さい。』

『有がたう御座いますが、御本宅の貴郎が御歸宅になつたからは、僕が改めて禮子さんにお目に懸る必要もありません！僕も實は少し他に用件を控へてをることですから、明日でも又ゆる〳〵お目に懸ると爲ませう。』

と、櫻井は、何かに付けて、自分の豫期と反したらしい模樣で、そこ〳〵に逃げ歸らうと爲るのであつた。町川も亦、强ては止めやうと爲ないので、

『然うですか、それぢやお禮は孰れ、彼の方面でお目に懸つた時の事に致しませう、お宅の皆さんへ宜しう願ひます。』

『いや、甚だ失禮を……。』と、櫻井は、その儘急ぎ足に辭し去る。

『俊、奧樣が病氣だと云ふが、それ程でもわるいか？』

京城の名物（京城本町入口通三）カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

『はい、御病氣の方よりも、旦那樣のお歸りないのを、それは〳〵御心配遊ばしてお在なんで御座います。何卒お早くお顏を見せて進げて頂きたう御座います』

『は、は、は、歸つて來た以上は、顏を見せるも見せんも有は爲ないが、平素もの部屋に寢て居るんだらう。』

『妾が御案内致しますで御座います。』

お俊が先に立つて行く後から、久三郎はすしん〳〵と長い廊下を踏みしめながら、禮子の病室へと歩みを運んだ。

『奧樣、お喜び遊ばせ。旦那樣がお歸りで御座いますよ。』

『禮子、病氣だつたさうだね。乃公は一寸も知らずに長逗留をして氣の毒だつた。』と、久三郎は、お俊の雛につゞいて、斯う云ひながら枕邊近くへ坐を占めたが、重ねて柔しく、

『一體、何處がそんなにわるいのか。』と、禮子が御向けに寢て居る顏を覗いた。

禮子は、此の時恰度氣疲れの夢から覺めて、起き直らうか直るまいかと考へて居る處であつたが、何時も斯うした場合には、突然に起き直ると、ぐら〳〵ッと頭の中に搖れ返るやうな癖があるので、久々の良人の顏を觀ると等しく、特に徐かに褥の上へ坐り直つた、

『旦那樣、只今お歸りで御座いますか。』と、柔和に慇懃に兩の手を支へる。

『今歸つた所さ。出先から出先と手の放されん用事が續出したもんだからね。お前が是程の病氣と知つたら、もつと早く歸るべきだつたが、禮子……何だかお前少し、頬の邊が窶れたやうに見ゆるね。』

白ばくれるのも、此の位巧妙になれば、先づ餘程の卒業者と云ひ得らるゝのである。禮子は、例の新聞記者の柴田や櫻井から、委細の事情を聞かされて居るのにも拘はらず、それを知つたやうな顏付を見せては、第一良人に恥面を搔かすやうなものと、胸に覺悟の鍵を卸して、只僅かに、

『隨分痩せたやうでも御座いますが……。』と、一言。

出雲ぶし　京城旭町一丁目 電話一八一五番
夏向き料理なら出雲屋へおいで
生きた川魚を召し上がれ

新刊紹介（到著順）

▲青年雄辯（七月號）戰後の亞細亞、世界大觀、第四期の西比利亞、米國建國の精神、大中小と上中下の遊び、時局とクリスチャンの態度、新時代の宗教、ナポレオンを殺したもの、話、智能の關係、雄辯の研究、須らく昔の百性たれ、時代の犠牲となりし問題の人田川大吉郎論（尾崎咢堂以下十數名士）犬養君に與ふるの書、矛盾の三要等あり、定價二十五錢、東京牛込矢來町三青年雄辯社

▲少女畫報（七月號）美しい表紙や口繪の外十數枚の寫眞畫を挿込み讀物としては浪の音、虫を食ふ術能具、潛水器の話、都築守の少女、飛行機が來た、女學校評判記、白菊、蝶子の父、後の雄介子、郷土の傳說、記者の自慢話其他あり、十八錢、東京々橋區〇町一東京社

皮膚科　黴
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障礙
——○——
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元二十七番）
佐藤醫院（電話一一七三番）

讀者の領分

▲國母陛下の御誕辰を[illegible]

▲[illegible]

（京城）[illegible]

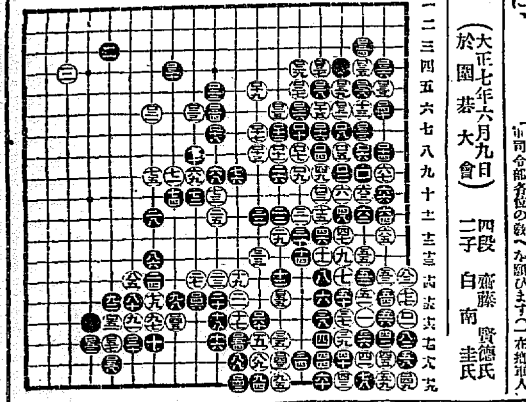
碁戰（八）

（大正七年六月九日 於圍碁大會）

四段 齋藤賢德氏　二子 白南圭氏

○一四一　●一四二　○一四三　●一四四　○一四五　●一四六　○一四七　●一四八　○一四九　●一五〇　○一五一　●一五二　○一五三　●一五四　○一五五　●一五六　○一五七　●一五八　○一五九　●一六〇

ヘの四　劫トル　リの九　トの六　ハの五　劫トル　チの十六　ルの十五　ハの四　劫トル　ニの十九　劫トル　イの十九　ハの五　劫トル　ヨの十六　タの十七　ハの四　劫トル　リの十七　トの十五　ハの五　劫トル　ヨの十七　ヨの十六　ハの四　劫トル　チの十六



クスリは……撰定が一番

何病に係らず藥の撰定が一番肝要なるに萬一其を誤たば飛んだ後悔を殘す……殊に

下痢腹痛の時ウカト粗惡らぬ薬劑を服用すると貴重な金錢を浪費するばかりか反つて病を重くし身體にも種々なる故障を來し危險此の上なし……故に

下痢腹痛には　柏村博士　ヘルプの撰定が一番安全

殺菌力絶大なる　下痢止胃腸藥

下痢の原因

が多く不消化と黴菌作用に起因するを知らば薬劑の撰定にも、又其注意せざるべからず

●然るに從來の藥劑は單純なる收斂劑にて消化と殺菌の作用ある物なし。

●柏村博士のヘルプは此等の缺點を考慮配劑せし他に類なき殺菌性下痢止腸胃藥なれば一般下痢に應用して奏効迅速且つ最も安全なり

ヘルプ效能

●食過●食傷●水あたり●冷腹●寢冷●時候あたり●消化不良等より起る

▲下痢腹痛　▲吐瀉　▲澁腹　▲腹瓦斯を止め　▲腸加答兒　▲胃加答兒を治す

ヘルプの特長

健胃、整腸、消化、殺菌、鎭痛、收斂、防腐等の諸作用を完備せる現代理想の腸胃藥

定價　貳拾錢　參拾錢　旅行用ポケット型　五拾錢　德用壹圓　貳圓半

東京日本橋區本銀町三丁目　本舖　津村敬天堂　振替東京八六四番

全國各藥店にあり

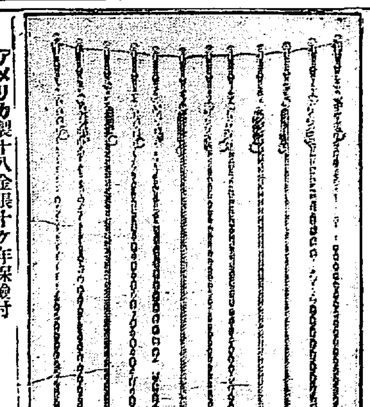
蠅退治（ST式固形石油乳劑）
ハイのウジとタマゴを殺し根を絶つて蕐を枯らす根本的蠅の驅除劑
壹打 定價二拾八錢 郵税四錢
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番・三壹一五番 振替京城二二番
大阪賣元 京城日報代理部 電話構内三十八番 振替京城三〇〇番

醫化學諸器械一式
Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城永樂町本町角 北島藥店京城支店 電話七六一番
藥種賣藥卸商

京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）
内科 小兒科 花柳病 外科 皮膚病
内田病院 電話三一六番

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醤油
代理店 京城明治町一丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話四九番 振替京城七五番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目 電話長五八番 一九三四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候



アメリカ製十八金張十ケ年保險付
壹本特價金四圓 送料十二錢
京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

最新刊
書名　著者　定價
論文要旨　全集十圓
亞細亞大觀　二、〇〇
支那の眞相　大河平時光　一、九〇
社會教育通俗講話　加藤咄堂　一、一〇
日野君五色太著合冊　定價參圓六十錢

◎最新藥物學
圖書館教育　田中敬　一、五〇
教育者のための哲學　稻毛詛風　一、六〇
ヒューム人性論　大田善男　一、七〇
世渡りの修養　湯澤榮一　一、三〇
詩作法　一、七五

◎珠算精義　定價壹圓八拾錢
東都新聞　一、三〇
天然養生法　西村卜窓　一、〇〇

京城本町　大阪屋號　電話六八四番　振替京城二五七三番
（本店）東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山

京城龍山等各地に僞物有御注意
有田
りん病　ばい毒
請特三円並二円 送料十三錢 合特二円 薬並一円五十錢
淋病薬主薬は治淋剤とし梅毒薬主薬は驅梅内服薬とし醫薬學上最有効と確定せし
帝國醫科大學病院等にて當揭配劑せる高貴藥なるを保証す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は
分析料 百圓 進呈
百圓進呈
大三休橋 大阪北詰角 大阪ドラッグ商會 有田
◉あらゆる治療を施すも効なき患者兜に南渡来談あれ
にせ物 東京大阪各地にせドラッグあり
大阪有田
東京日本橋通四　大阪心斎橋

京城南大門外停車場通
ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目（仝支店）
龍山練兵場前停留所（仝支店）
釜山大廳町二丁目（仝支店）
元山本町三丁目（仝支店）
平壤櫻町十二番地（仝支店）
仁川宮町二丁目（仝支店）
朝鮮のにせ物
京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購入せられざる樣御注意を乞ふ
請ふ藥行他ノ薬店販賣不許
全國到る所の都市朝鮮滿州南滿洲台灣等に支店あり
詳細は本月六日の本紙を御覧
松

金泉乃城間自動車著發時刻
下り 一番 二番 上り 一番 二番 三番
[illegible]
▲小荷物運搬取扱仕候
織居自動車部 金泉支部 金泉電話四八番

大阪商船汽船出帆

仁川出帆　神戸、大阪行　仁川丸　六月　日　後五時出

元山出帆　淸津行　宮島丸　七月一日　後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　六月三十日　後九時出

大連出帆　上海、基隆、打狗行　湖北丸　七月十二日　前六時出　基隆丸　七月廿四日　後四時出

内地各港出帆主要航路

歐洲行　一年四回
南米行　一年四回
濠洲行　毎月一回
北米行　毎月二回
孟買行　毎月二回
南洋行　毎月一回

御注意　◉外航所屬航路（南洋航路ヲ除ク）ハ出帆時刻ノ五分前ヲ以テ連絡切符發賣ヲ停止致候　◉御乘船券ハ朝鮮鐵道及南滿洲鐵道聯絡各驛ニテモ發賣仕候　▲印ハ一等客御斷リ　×印ハ二等客御斷リ

大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇番・五五〇番

切符發賣所扱所　京城 内國通運會社支店 電話七〇八番　仁川京城通り 朝鮮旅館 電話二六一番　仁川本町二丁目 慶田組 電話二四二番　仁川港町一 慶田組支店 電話七二二番

尾崎汽船仁川出帆

下關、大阪直行　第一太湖丸　六月　日後四時出
大有丸　六月　日後四時出
釜山、下關、神阪行　君が代丸　六月　日後四時出
電話五十九番　仁川海岸通三丁目　髙杉回漕部

朝鮮郵船出帆

天候時勢等ノ爲メ發着日時變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ

◯敦賀行（淸津發城津元山經由）七月一日 淸津發
平壤丸　七月四日 元山發

◯浦汐行（大阪發門司、釜山、元山、城津經由）越後丸　六月廿五日 釜山發　六月廿七日 元山發

◯雄基行（臨門發釜山各港經由 ×印江原道寄港セズ）雄基丸　六月廿四日 釜山發
×雄基丸　六月廿七日 元山發
咸鏡丸　六月廿七日 釜山發　七月三日 元山發

◯元山雄基線（往復）元山起點各港經由雄基間　鏡城丸　六月廿五日 元山發

◯大阪行　越後丸　七月五日 元山發　七月五日 釜山發

◯金剛山遊覽便（元山發長箭經由 行月六回但シ自六月至十月）總城丸　六月廿九日 元山發

◯鬱陵島行（釜山發浦項及各港經由）隱德丸　六月　日 釜山發

◯釜山浦項線（釜山發長生浦方魚津九龍浦）江陵丸、襄陽丸　毎日 釜山、浦港發

◯濟州島行（釜山發長承浦統營木浦經由）昌平丸　六月廿六日 釜山發

◯濟州島行　東廻 公州丸　六月廿九日　西廻 慶興丸　六月廿六日 木浦發

◯釜山麗水線　海州丸、巨濟丸、統營丸　毎日 釜山麗水發

◯木浦麗水線（麗水ニテ釜山行接續）順天丸　六月廿五日 木浦發（以下三日目毎ニ木浦發）

◯多島海行（木浦發多島海各島行）慶興丸　七月二日 木浦發

◯木浦行（仁川發各港經由）全州丸　七月八日 仁川發

◯海州行（仁川發江華島經由）錦江丸、成歡丸　毎日一回 仁川海州發

◯鎭南浦行（仁川發各港經由）晋州丸　七月三日 仁川發

◯市島行（仁川發各港經由）江原丸　七月二日 仁川發

◎朝鮮鐵道及社外鐵道荷客聯絡運送ノ便アリ

本社　京城南大門通（電話一一九五、一二三二、一二三三）
釜山港佐藤町　釜山支店
元山港海岸通　元山出張所
仁川港代理店　堀回漕部
木浦港代理店　小野回漕部
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店（電話長一一七〇番）
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）